

# 地域福祉に関する市民意識調査の結果について

## 第 1 調査概要

### 1. 調査目的

地域福祉を推進する計画の策定に生かすための基礎資料として実施した。

### 2. 調査方法

#### (1) 調査対象者

広島市内在住の 18 歳以上の男女 5,000 人（平成 29 年 12 月末現在）

#### (2) 調査方法

郵送配布一郵送回収

#### (3) 調査期間

平成 30 年 3 月 1 日（木）～平成 30 年 3 月 20 日（火）

### 3. 回収結果

#### (1) 回収数

2,077 件（回収率 41.5%）

### 4. 調査結果の見方

(1) 本文及び図中に示した調査結果の数値は百分比（%）で示してある。これらの数値は小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、全項目の回答比率の合計が 100.0%とならない場合がある。

(2) 複数の回答を求めた質問では、回答比率の合計が 100.0%を超えることがある。

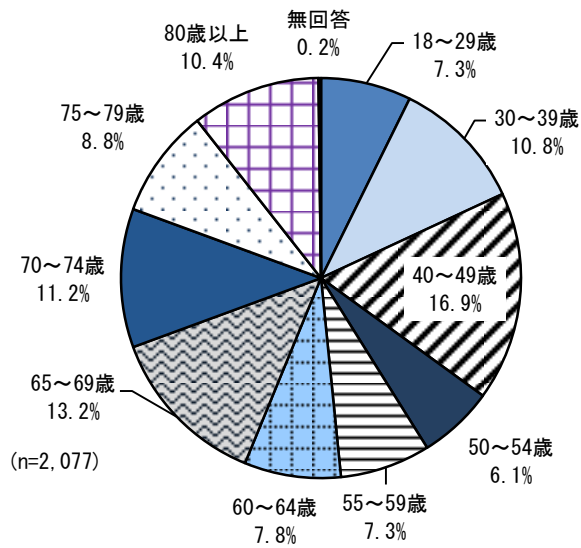
(3) 図表中の「n」は number of cases の略で、回答者総数または分類別の回答者数を示す。各比率は n を 100%として算出している。

(4) クロス集計において回答数（n）が 20 件に満たない場合は、極端な調査結果や誤差が生じるため、コメントは記載していない。

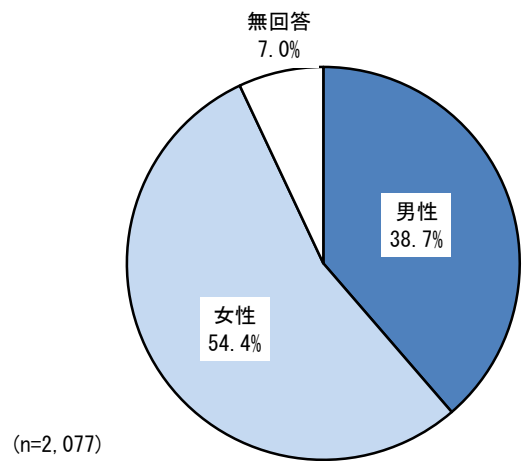
## 第2 調査結果

### 【回答者の属性】

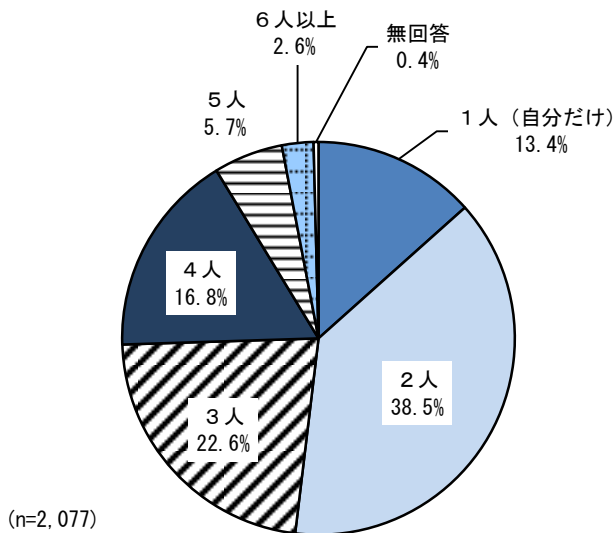
(1) 年齢



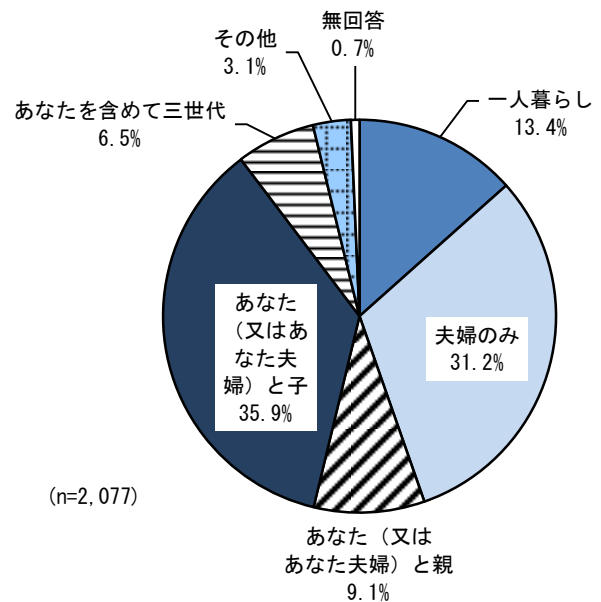
(2) 性別



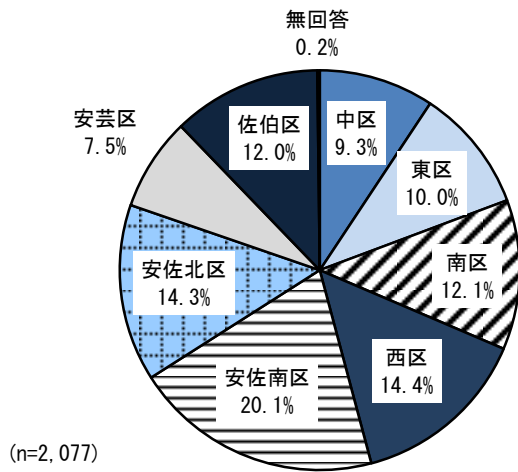
(3) 同居家族の人数(自分を含む)



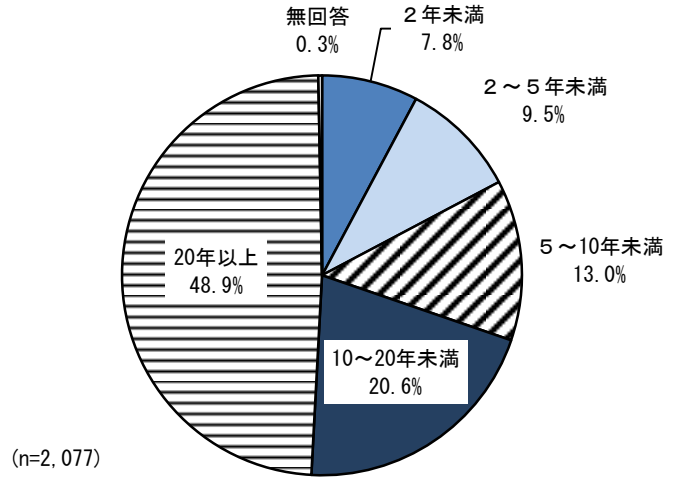
(4) 同居家族の構成



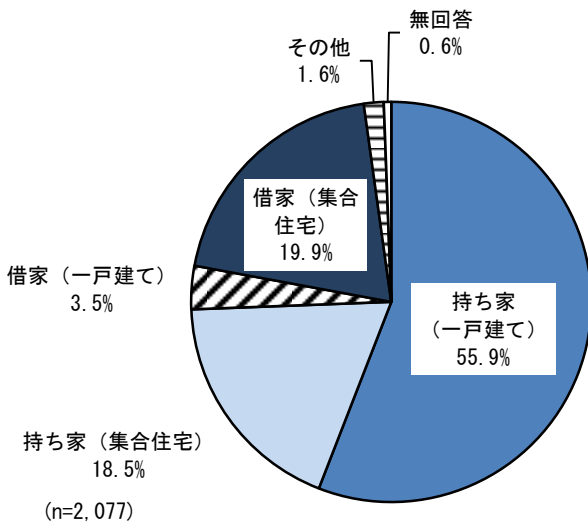
(5) お住まいの区



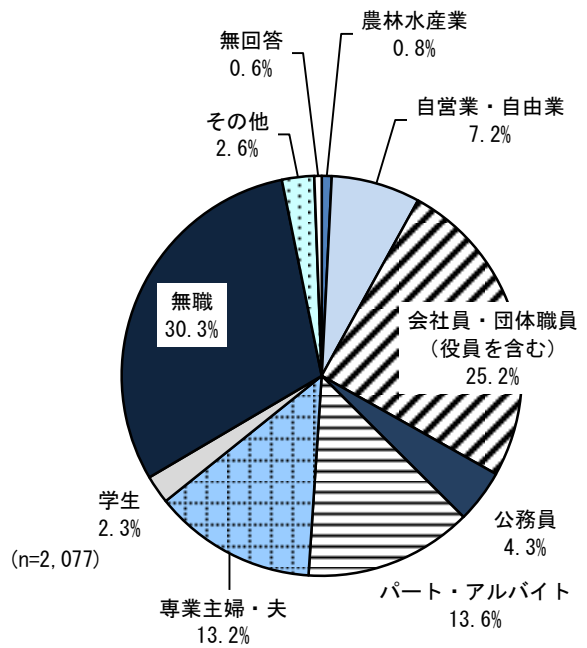
(6) 現在の場所の年数



(7) 住居形態



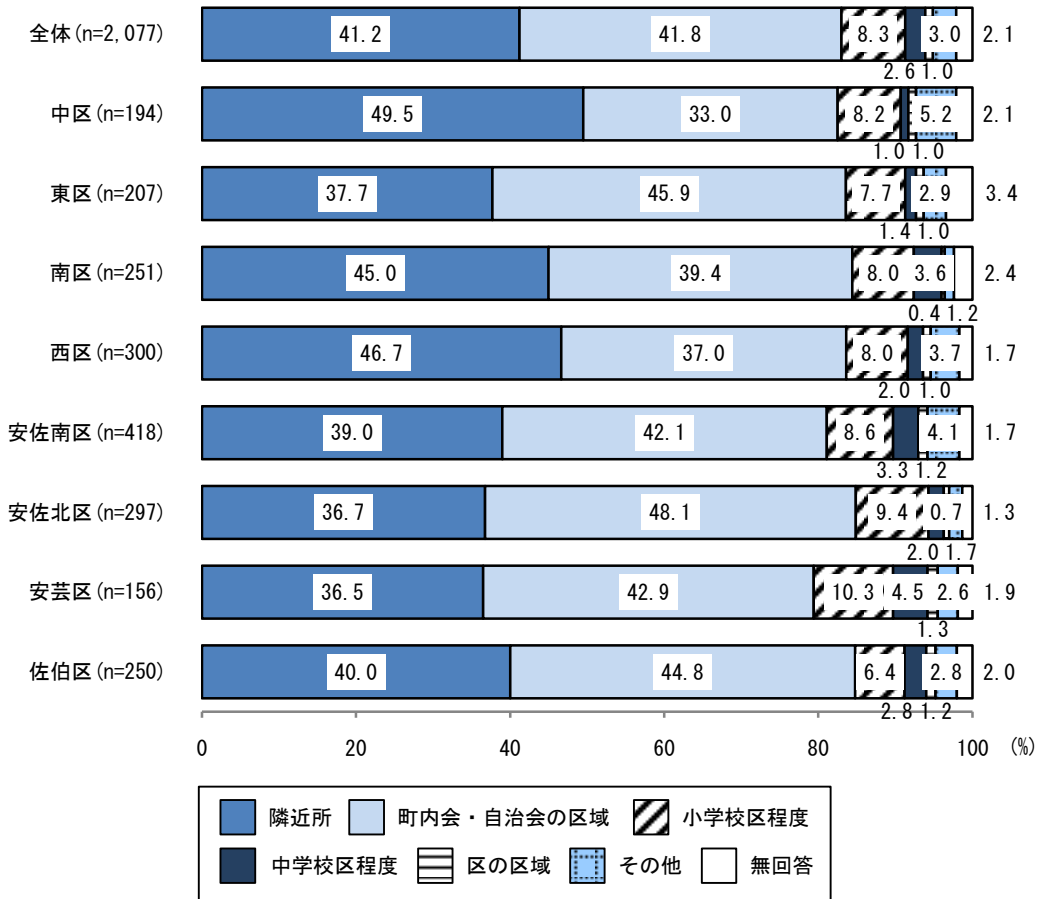
(8) 仕事



# 1. 地域における支え合いについて

問1 あなたは、住民同士の支え合いができる「地域」の範囲はどれくらいだと思いますか。【あてはまる番号を選び、1つに○を付けてください。】

【図表 住民同士の支え合いができる「地域」の範囲（居住区別）】



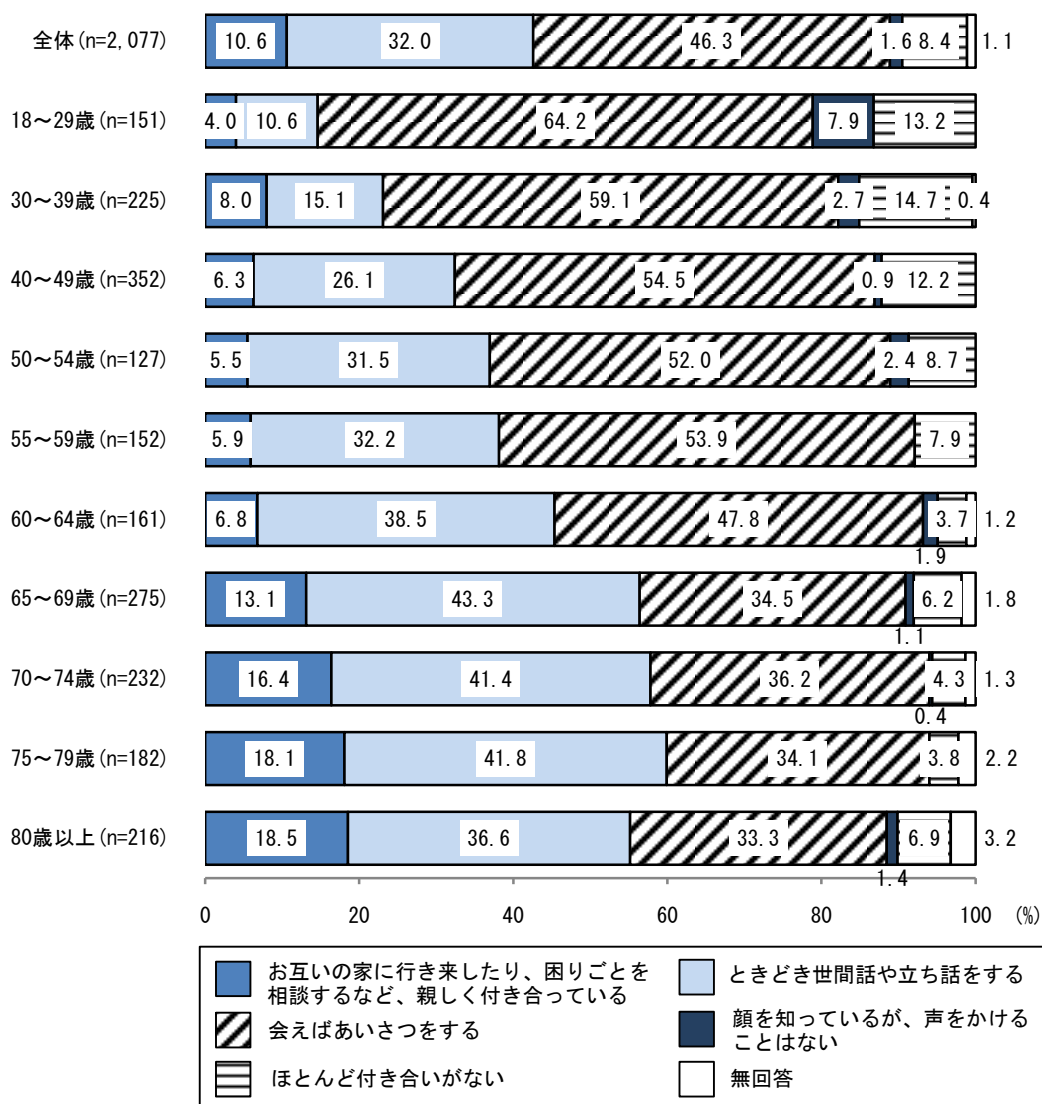
住民同士の支え合いができる「地域」の範囲について、「町内会・自治会の区域」との回答が41.8%と最も高く、次いで「隣近所」（41.2%）などの順となっている。

居住区別にみると、中区、南区、西区は「隣近所」との回答が4割台半ばから約5割と高く、住民同士の支え合いができる範囲が狭くなっている。

問2 あなたは、どのような近所付き合いをしていますか。

【あてはまる番号を選び、1つに○を付けてください。】

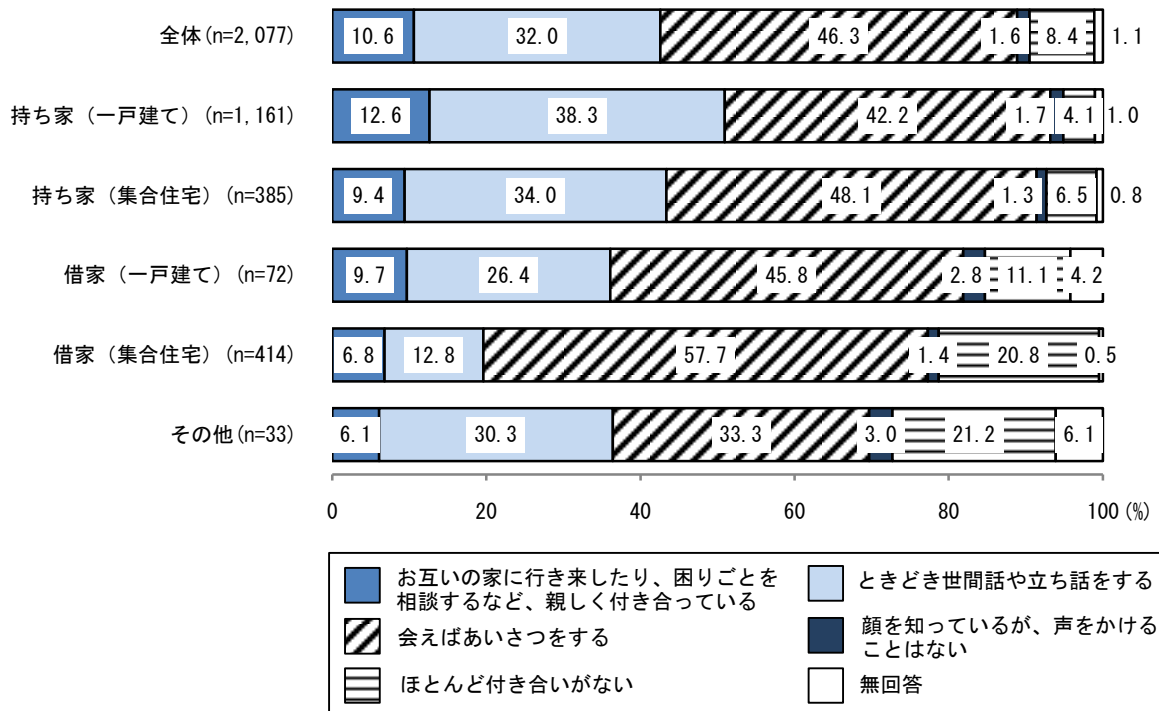
【図表 近所付き合いの程度（年齢別）】



近所付き合いの程度について、「会えばあいさつをする」との回答が46.3%と最も高く、次いで「ときどき世間話や立ち話をする」(32.0%)などの順となっている。これに対して、「お互いの家に行き来したり、困りごとを相談するなど、親しく付き合っている」との回答が1割程度にとどまり、また、「顔を知っているが、声をかけることはない」と「ほとんど付き合いがない」との回答が合わせて1割となっており、本市内における近所付き合いの程度が薄いことがうかがえる。

年齢別にみると、「ときどき世間話や立ち話をする」との回答は年齢が上がるにつれ高くなる傾向がみられ、「会えばあいさつをする」との回答は59歳以下で5割を超えている。このことから、59歳以下の世代ではあいさつをする程度の付き合いが多く、60歳以上の世代では年齢が上がるにつれて近所付き合いの程度が濃くなっていることがうかがえる。

【図表 近所付き合いの程度（住居形態別）】

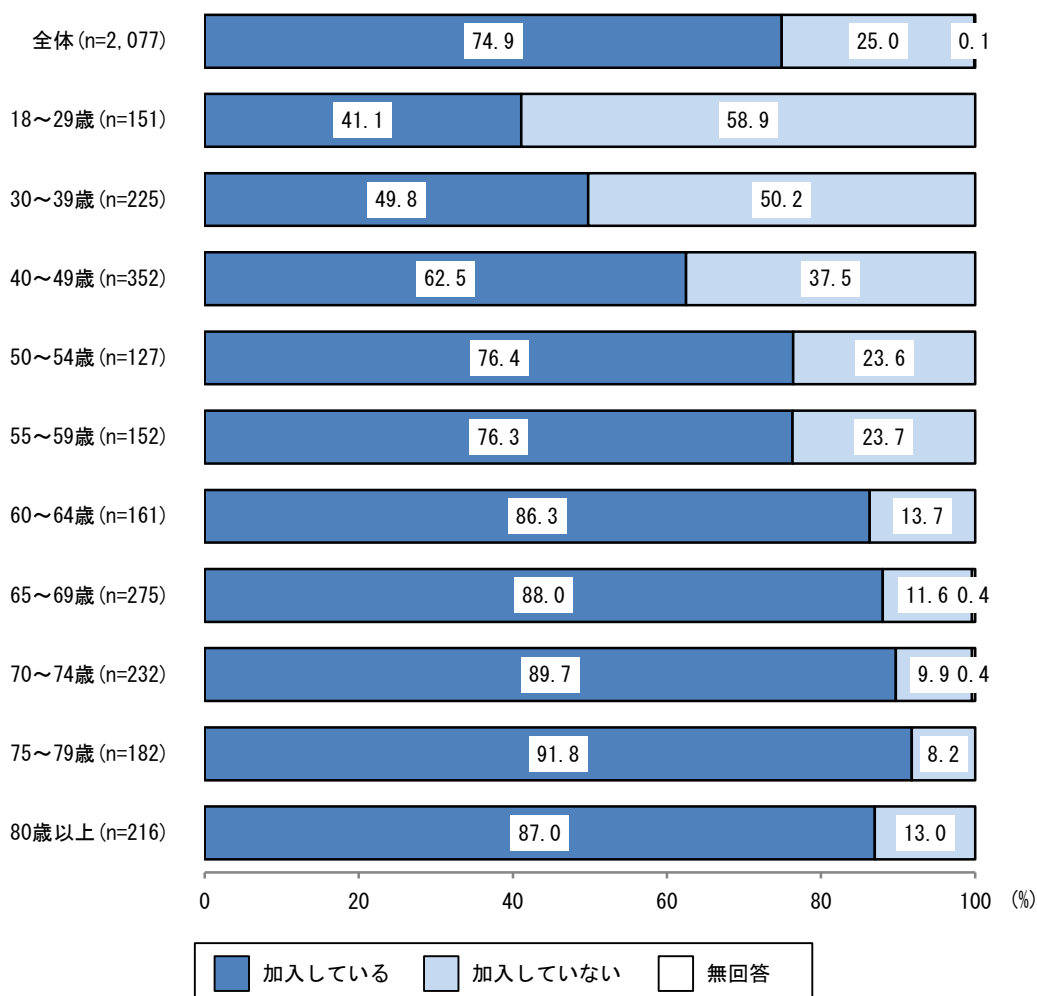


住居形態別にみると、持ち家（一戸建て）は「ときどき世間話や立ち話をする」との回答が約4割と高くなっている。また、借家（集合住宅）は「会えばあいさつをする」との回答が約6割、「ほとんど付き合いがない」との回答は約2割と高くなっており、近所付き合いが希薄化していることがうかがえる。

問3 あなたは、町内会・自治会に加入していますか。

【あてはまる番号を選び、1つに○を付けてください。】

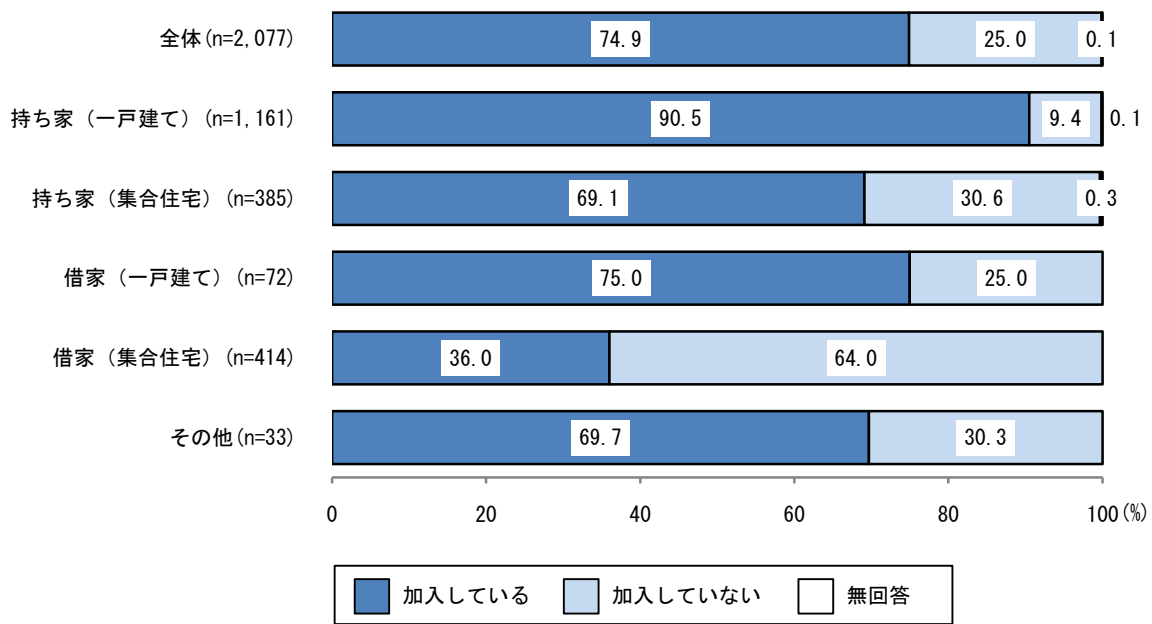
【図表 町内会・自治会への加入の有無（年齢別）】



町内会・自治会への加入の有無について、「加入している」との回答が74.9%、「加入していない」との回答が25.0%となっている。

年齢別にみると、60歳以上は「加入している」との回答が9割前後と高く、年齢が上がるにつれて「加入している」割合が高くなる傾向がみられる。また、39歳以下は「加入している」との回答が5割を下回っており、若い世代の加入の割合が低いことがわかる。

【図表 町内会・自治会への加入の有無（住居形態別）】

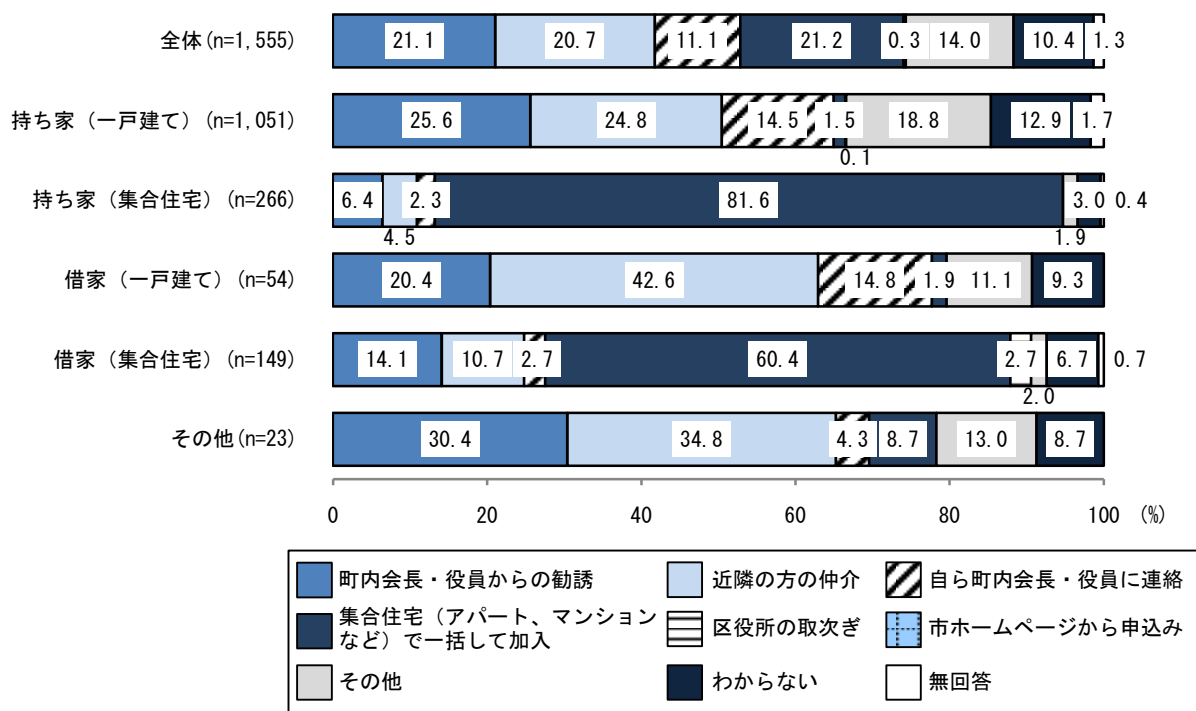


住居形態別にみると、前問で近所付き合いが濃いとされていた持ち家（一戸建て）は「加入している」との回答が約9割と最も高く、近所付き合いが希薄だった借家（集合住宅）は「加入している」との回答が3割台半ばと最も低くなっている。このことから、町内会・自治会への加入状況は近所付き合いの程度と関係がある可能性がある。



問4 問3で「加入している」と答えた方におたずねします。  
 あなたは、どのような方法で町内会・自治会に加入しましたか。  
 【あてはまる番号を選び、1つに○を付けてください。】

【図表 町内会・自治会への加入方法（住居形態別）】



町内会・自治会への加入方法について、「集合住宅（アパート、マンションなど）で一括して加入」との回答が21.2%と最も高く、次いで「町内会長・役員からの勧誘」(21.1%)、「近隣の方の仲介」(20.7%)などの順となっている。

住居形態別にみると、持ち家（一戸建て）は「町内会長・役員からの勧誘」、「近隣の方の仲介」との回答が2割台半ば、借家（一戸建て）は「近隣の方の仲介」との回答が4割超と高くなっている。また、持ち家（集合住宅）、借家（集合住宅）は「集合住宅（アパート、マンションなど）で一括して加入」との回答が6割から8割超と高くなっている。一戸建てでは地域住民からの勧誘・仲介で加入する人が多く、集合住宅では、一括して加入する人が大半を占めており、住居形態により加入方法に相違があることがわかる。

問5 問3で「加入していない」と答えた方におたずねします。

あなたが町内会・自治会に加入していない理由は何ですか。

【あてはまる番号を選び、いくつでも○を付けてください。】

【図表 町内会・自治会へ加入していない理由（年齢、居住年数、住居形態別）】

		件数	誘加入するきっかけがないため	忙しくて活動する時間がないため	何の活動をしているのかわからないため	加入方法がわからないため	役員をやりたいくないため	人間関係がわずらわしいため	活動に魅力がないため	会費を払うのが負担であるため	高齢・病などにより、活動に参加できないため
全体		520	41.5	31.9	24.2	20.8	17.9	16.9	12.1	10.8	8.1
年齢別	18～29歳	89	49.4	37.1	31.5	27.0	11.2	16.9	13.5	7.9	1.1
	30～39歳	113	66.4	43.4	31.9	38.9	19.5	18.6	11.5	15.9	0.9
	40～49歳	132	31.8	37.9	24.2	14.4	28.0	16.7	13.6	15.2	3.0
	50～54歳	30	46.7	30.0	20.0	20.0	10.0	10.0	13.3	10.0	6.7
	55～59歳	36	30.6	27.8	13.9	8.3	13.9	16.7	8.3	2.8	2.8
	60～64歳	22	13.6	22.7	18.2	0.0	22.7	13.6	27.3	9.1	13.6
	65～69歳	32	25.0	18.8	25.0	18.8	15.6	18.8	6.3	12.5	15.6
	70～74歳	23	34.8	17.4	13.0	13.0	17.4	34.8	4.3	4.3	30.4
75～79歳	15	33.3	0.0	13.3	13.3	6.7	13.3	20.0	0.0	46.7	
80歳以上	28	21.4	0.0	7.1	3.6	3.6	7.1	3.6	0.0	39.3	
居住年数別	2年未満	87	64.4	29.9	34.5	32.2	14.9	14.9	10.3	11.5	2.3
	2～5年未満	109	56.0	34.9	30.3	25.7	12.8	13.8	8.3	8.3	6.4
	5～10年未満	108	36.1	41.7	19.4	21.3	23.1	22.2	14.8	13.9	6.5
	10～20年未満	117	31.6	33.3	21.4	17.1	20.5	15.4	15.4	12.0	4.3
	20年以上	99	23.2	18.2	17.2	9.1	17.2	18.2	11.1	8.1	21.2
住居形態別	持ち家（一戸建て）	109	27.5	27.5	18.3	11.9	17.4	14.7	11.9	8.3	14.7
	持ち家（集合住宅）	118	29.7	28.0	16.1	8.5	24.6	16.1	16.9	11.0	6.8
	借家（一戸建て）	18	22.2	16.7	11.1	11.1	22.2	11.1	5.6	0.0	16.7
	借家（集合住宅）	265	54.0	37.4	31.3	30.2	14.7	18.5	10.6	12.8	4.9
	その他	10	40.0	10.0	20.0	30.0	20.0	20.0	10.0	0.0	20.0

町内会・自治会へ加入していない理由について、「加入するきっかけ（勧誘など）がないため」との回答が41.5%と最も高く、次いで「忙しくて活動する時間がないため」（31.9%）、「何の活動をしているのかわからないため」（24.2%）などの順となっている。

年齢別にみると、大半の年齢層で「加入するきっかけ（勧誘など）がないため」との回答率が最も高かった。

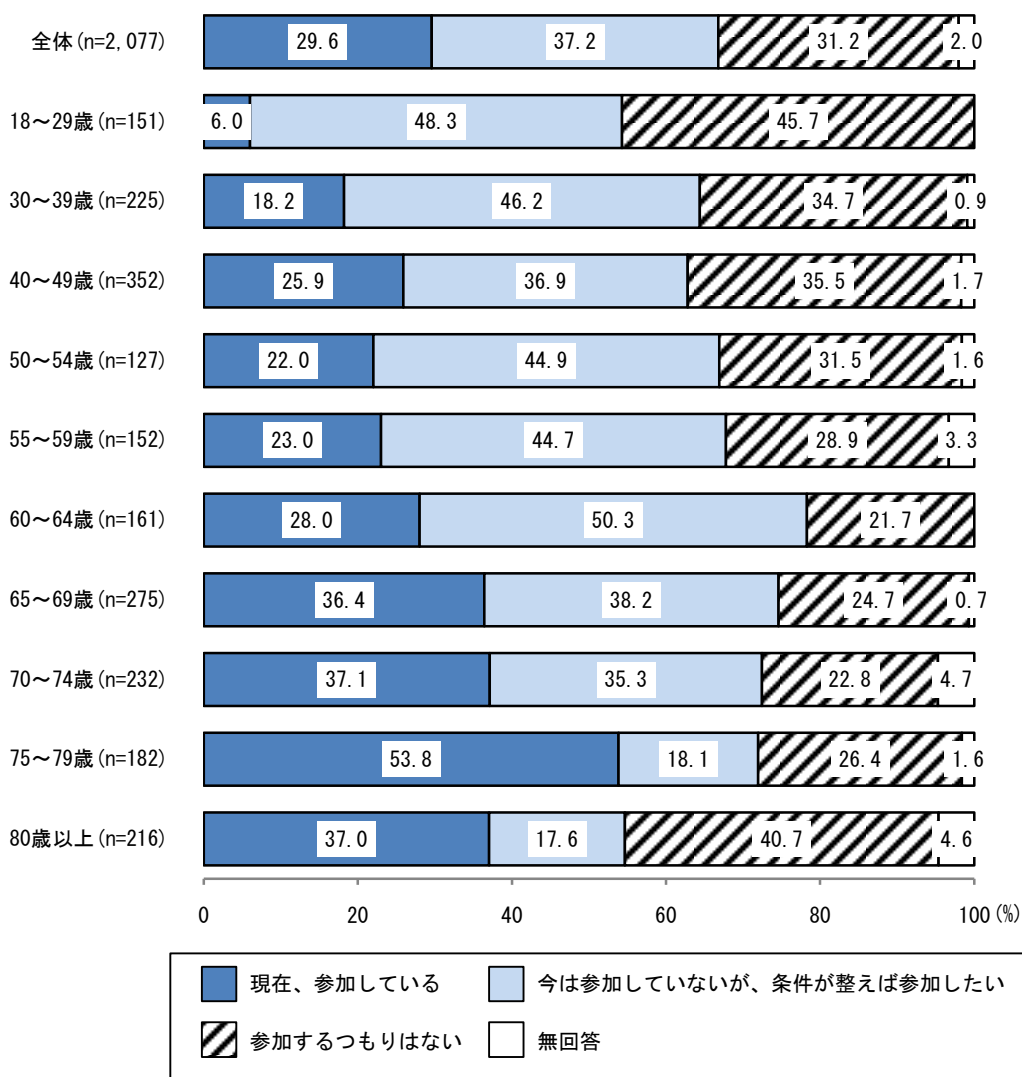
居住年数別にみると、2年未満は「加入するきっかけ（勧誘など）がないため」との回答が6割台半ばと最も高く、居住年数が長くなるにつれて低くなっている。

住居形態別にみると、借家（集合住宅）は「加入するきっかけ（勧誘など）がないため」との回答が5割台半ば、「忙しくて活動する時間がないため」との回答が約4割と他の住居形態に比べ特に高くなっている。

問6 あなたは、地域活動やボランティア活動に参加していますか。

【あてはまる番号を選び、1つに○を付けてください。】

【図表 地域活動やボランティア活動への参加の有無（年齢別）】



地域活動やボランティア活動への参加の有無について、「現在、参加している」との回答が29.6%、「今は参加していないが、条件が整えば参加したい」との回答が37.2%となっている。また、「参加するつもりはない」との回答が31.2%となっている。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれ「現在、参加している」との回答が高くなる傾向がみられる。また、18～29歳、80歳以上は「参加するつもりはない」との回答が4割台と高くなっている。

問7 問6で「現在、参加している」または「今は参加していないが、条件が整えば参加したい」と答えた方におたずねします。あなたは、どのような活動に参加していますか（条件が整えば参加したいですか）。

【あてはまる番号を選び、いくつでも○を付けてください。】

【図表 参加している活動（年齢別）】

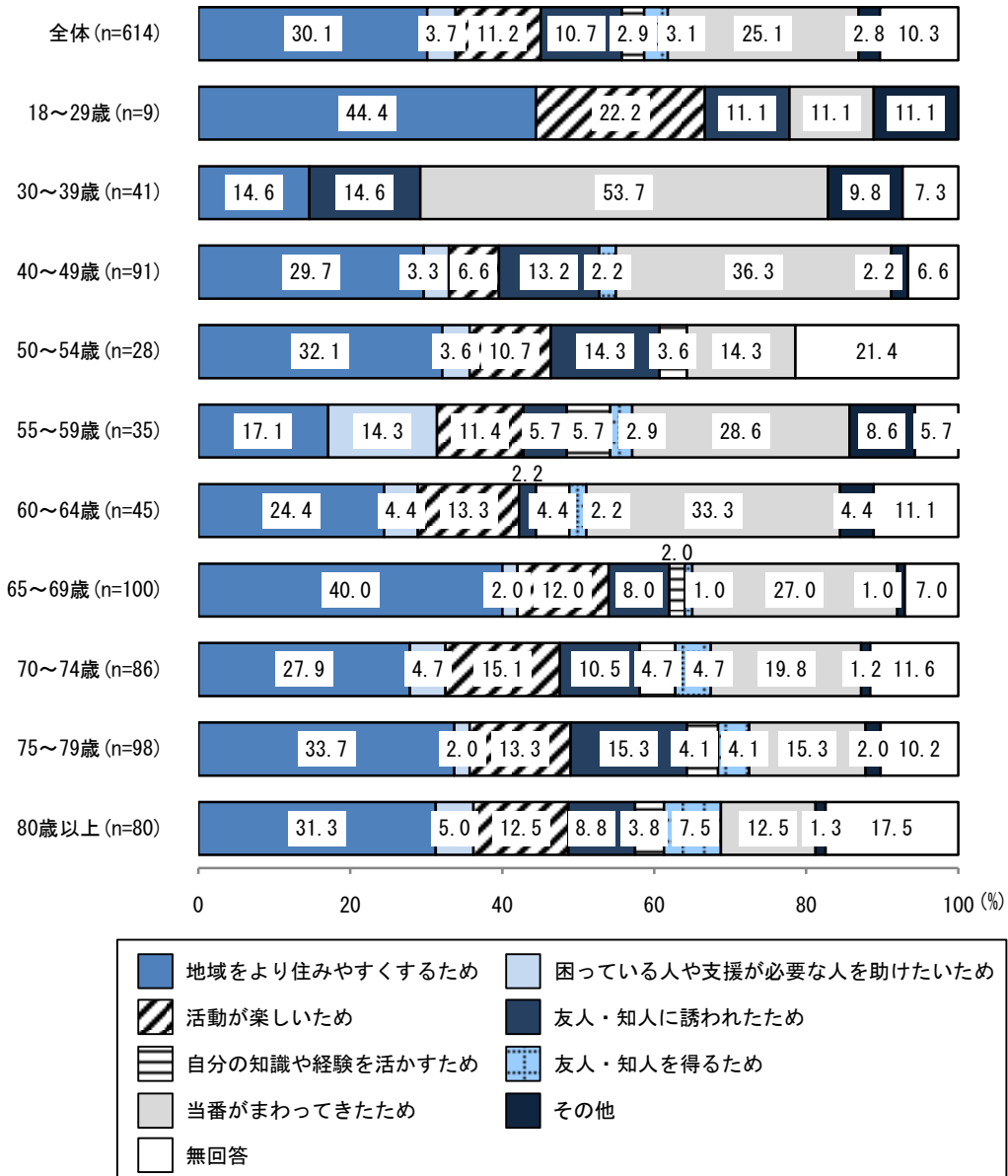
		件数	(%)						
			町内会・自治会の活動	公園などの清掃、環境美化活動	祭りや盆踊り、運動会などのイベント	健康づくりに関する活動	文化、芸術、スポーツに関する活動	防災、防犯、交通安全に関する活動	子育て、PTA、学校、青少年育成に関する活動
全体		1386	44.6	37.3	28.0	24.4	19.9	15.8	15.3
年齢別	18～29歳	82	18.3	41.5	35.4	15.9	34.1	23.2	9.8
	30～39歳	145	36.6	39.3	40.0	6.9	20.0	13.8	40.0
	40～49歳	221	41.2	35.7	29.9	14.5	20.4	18.6	39.4
	50～54歳	85	40.0	35.3	25.9	14.1	14.1	11.8	15.3
	55～59歳	103	45.6	37.9	27.2	19.4	23.3	19.4	9.7
	60～64歳	126	46.8	37.3	21.4	29.4	11.1	15.1	5.6
	65～69歳	205	54.6	33.2	25.9	27.8	22.4	15.6	4.9
	70～74歳	168	48.8	36.9	26.2	39.3	19.6	13.1	6.5
	75～79歳	131	51.1	40.5	24.4	32.1	18.3	15.3	2.3
	80歳以上	118	48.3	39.0	23.7	39.8	16.1	13.6	4.2

参加している活動について、「町内会・自治会の活動」との回答が44.6%と最も高く、次いで「公園などの清掃、環境美化活動」(37.3%)、「祭りや盆踊り、運動会などのイベント」(28.0%)などの順となっている。

年齢別にみると、「文化、芸術、スポーツに関する活動」との回答は18～29歳で3割台半ば、「健康づくりに関する活動」との回答は70歳以上で3割台、「子育て、PTA、学校、青少年育成に関する活動」との回答は30～49歳で4割前後と高くなっており、年齢により参加している活動に差がみられる。

問8 問6で「現在、参加している」と答えた方におたずねします。  
 あなたが地域活動やボランティア活動に参加している一番の理由は何ですか。  
 【あてはまる番号を選び、1つに○を付けてください。】

【図表 地域活動やボランティア活動に参加している理由（年齢別）】



地域活動やボランティア活動に参加している理由について、「地域をより住みやすくするため」との回答が30.1%と最も高く、次いで「当番がまわってきたため」(25.1%)、「活動が楽しいため」(11.2%)、「友人・知人に誘われたため」(10.7%)などの順となっている。

年齢別にみると、30~39歳は「当番がまわってきたため」との回答が5割台半ばとなっている一方、18~29歳及び65~69歳は「地域をより住みやすくするため」との回答が4割と高くなっている。

問9 問6で「今は参加していないが、条件が整えば参加したい」と答えた方におたずねします。  
あなたは、どのような条件が整えば、地域活動やボランティア活動に参加したいと思いますか。【あてはまる番号を選び、いくつでも○を付けてください。】

【図表 地域活動やボランティア活動へ参加する条件（年齢別）】

		件数	(%)							無回答
			時間的に参加可能な内容	体力的に参加可能な内容	活動の目的・内容等の情報が示されている	仲間や友人と一緒に参加できる	活動にあたって基本的な知識・技能を学ぶ機会がある	自分の知識・技能を活かせる	その他	
全体		772	70.6	41.2	23.3	22.7	20.3	18.8	4.1	5.3
年齢別	18～29歳	73	80.8	28.8	30.1	38.4	16.4	17.8	2.7	1.4
	30～39歳	104	87.5	29.8	37.5	26.0	24.0	20.2	5.8	0.0
	40～49歳	130	83.1	34.6	23.1	20.8	23.8	21.5	3.8	3.8
	50～54歳	57	82.5	43.9	28.1	15.8	19.3	14.0	3.5	1.8
	55～59歳	68	77.9	42.6	26.5	16.2	25.0	29.4	2.9	0.0
	60～64歳	81	72.8	49.4	19.8	19.8	27.2	14.8	4.9	6.2
	65～69歳	105	60.0	49.5	18.1	21.9	18.1	22.9	2.9	9.5
	70～74歳	82	48.8	54.9	17.1	23.2	17.1	15.9	3.7	6.1
	75～79歳	33	45.5	54.5	12.1	12.1	6.1	9.1	9.1	12.1
80歳以上	38	23.7	31.6	5.3	28.9	7.9	7.9	5.3	26.3	

地域活動やボランティア活動へ参加する条件について、「時間的に参加可能な内容である」との回答が70.6%と最も高く、次いで「体力的に参加可能な内容である」(41.2%)、「活動の目的・内容等の情報が示されている」(23.3%)、「仲間や友人と一緒に参加できる」(22.7%)などの順となっている。

年齢別にみると、18～69歳は「時間的に参加可能な内容である」、70～80歳以上は「体力的に参加可能な内容である」との回答がそれぞれ最も高く、年齢が上がるにつれ、時間的な条件から体力的な条件へと変化している。

問 10 あなたが地域で生活していく上で、心配していることは何ですか。

【あてはまる番号を選び、いくつでも○を付けてください。】

【図表 地域で生活していく上での心配ごと（年齢、家族構成別）】

(%)

	件数	買物や通院などの外出が、いつまで自分で行くかわからない	経済的に生活できるか不安である	料理や掃除などの身のまわりのこと、いつまで自分で行くかわからない	自分や家族の病気に、頼れる人が身近にいない	介護が必要な家族を介護できる自信がない	人との交流がなく、孤立すること不安である	子育てがうまくできるか不安である	特に心配なことはない	
全体	2077	25.3	20.2	19.9	18.3	16.7	9.0	6.3	35.5	
年齢別	18～29歳	151	3.3	22.5	3.3	16.6	19.2	9.3	17.2	45.7
	30～39歳	225	5.3	20.0	3.6	22.7	15.6	9.3	28.0	36.9
	40～49歳	352	8.5	22.4	6.8	22.4	18.5	7.1	9.7	44.0
	50～54歳	127	18.9	22.8	12.6	18.1	18.9	12.6	3.9	37.8
	55～59歳	152	18.4	25.0	13.8	19.1	17.8	11.2	0.7	38.2
	60～64歳	161	23.6	25.5	21.7	13.0	13.7	7.5	0.0	40.4
	65～69歳	275	38.5	19.6	25.5	18.9	15.3	9.8	0.0	34.5
	70～74歳	232	37.9	16.4	35.8	15.1	15.9	8.6	0.0	25.4
	75～79歳	182	48.9	17.0	40.7	17.0	17.0	8.8	0.0	27.5
80歳以上	216	48.6	13.0	35.6	15.7	16.2	8.8	0.5	25.5	
家族構成別	一人暮らし	279	35.1	22.9	31.9	25.8	3.2	17.2	2.2	28.0
	夫婦のみ	648	35.2	17.6	30.1	17.9	19.6	8.8	2.5	31.8
	あなた（又はあなた夫婦）と親	189	12.2	30.2	11.6	20.1	32.8	9.0	4.2	33.3
	あなた（又はあなた夫婦）と子	745	17.4	18.8	10.3	16.5	13.7	6.4	12.3	41.2
	あなたを含めて三世代	136	20.6	13.2	14.0	11.0	19.1	5.1	1.5	41.2
	その他	65	24.6	35.4	15.4	23.1	29.2	12.3	7.7	33.8

地域で生活していく上での心配ごとについて、「買物や通院などの外出が、いつまで自分でできるかわからない」との回答が25.3%と高く、次いで「経済的に生活できるか不安である」（20.2%）などの順となっている。また、「特に心配なことはない」との回答は35.5%と最も高くなっている。

年齢別にみると、65歳以上は「買物や通院などの外出が、いつまで自分でできるかわからない」との回答が最も高くなっており、年齢が上がるにつれて高くなっている。

家族構成別にみると、一人暮らし、夫婦のみは「買物や通院などの外出が、いつまで自分でできるかわからない」との回答が3割台半ば、「料理や掃除などの身のまわりのことが、いつまで自分でできるかわからない」との回答が3割超、あなた（又はあなた夫婦）と親は「経済的に生活できるか不安である」との回答が約3割、「介護が必要な家族を介護できる自信がない」との回答が3割超と高くなっている。一方、あなた（又はあなた夫婦）と子、あなたを含めて三世代は「特に心配なことはない」との回答が4割超と高くなっている。

問 11 あなたは、お住まいの地域には、どのような問題や課題があると感じていますか。【あてはまる番号を選び、いくつでも○を付けてください。】

【図表 地域の問題や課題（居住区別）】

		(%)										
		件数	近所付き合いが少なく	災害時の助け合いの準備ができていないこと	世代同士との交流が少なくなっていること	若者と高齢者など違う世代	アスリート（人）の活動が少なくなっていること	地域の活動やボランティア（活動）	地域に口がつかないこと	高齢者・障害者の見守りが十分でないこと	地域の専門機関が十分でないこと	特に問題や課題はない
全 体		2077	37.2	30.3	28.6	26.0	17.5	15.2	10.6	18.2		
居住区別	中区	194	36.6	34.0	26.3	21.1	19.1	14.4	9.8	18.0		
	東区	207	38.6	27.5	25.6	26.6	20.3	13.0	11.1	16.4		
	南区	251	39.4	35.9	29.9	23.9	19.5	13.5	11.6	14.3		
	西区	300	35.0	34.3	26.0	20.7	18.0	17.0	11.7	20.0		
	安佐南区	418	38.0	28.5	25.6	26.8	20.3	13.4	11.5	16.7		
	安佐北区	297	36.4	22.6	34.3	33.0	13.8	17.8	10.4	19.9		
	安芸区	156	35.3	32.7	35.9	26.3	14.1	17.3	11.5	19.2		
	佐伯区	250	37.6	30.8	29.2	28.0	13.2	16.0	6.4	20.8		

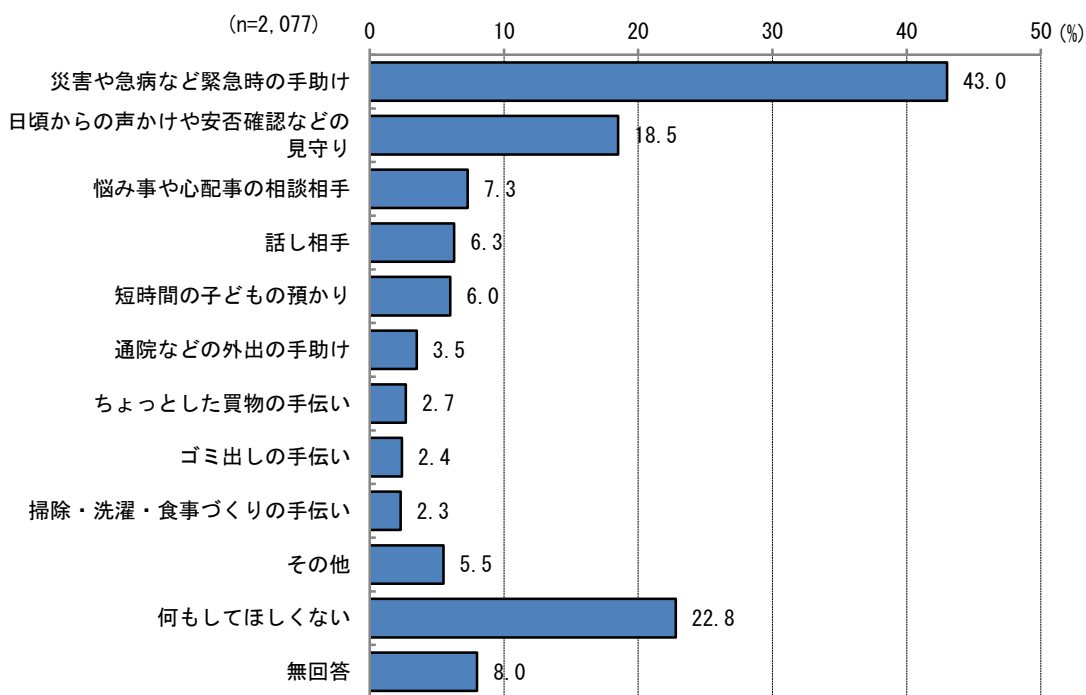
地域の問題や課題について、「近所付き合いが少なくなっていること」との回答が37.2%と最も高く、次いで「災害時の助け合いの準備ができていないこと」(30.3%)、「若者と高齢者など違う世代同士の交流が少なくなっていること」(28.6%)などの順となっている。

居住区別にみると、中区、南区、西区は「災害時の助け合いの準備ができていないこと」との回答が3割台半ば、安佐北区、安芸区は「若者と高齢者など違う世代同士の交流が少なくなっていること」との回答が3割台半ばと高くなっており、市内中心部では郊外に比べ災害時の助け合いの準備ができていないことに問題や課題があると感じている住民が多いことがわかる。



問 12 あなたは、自分や家族の日常生活における困りごとに関して、地域の方からどのような手助けをしてもらいたいですか。  
 【あてはまる番号を選び、3つまで○（1つでもかまいません）を付けてください。】

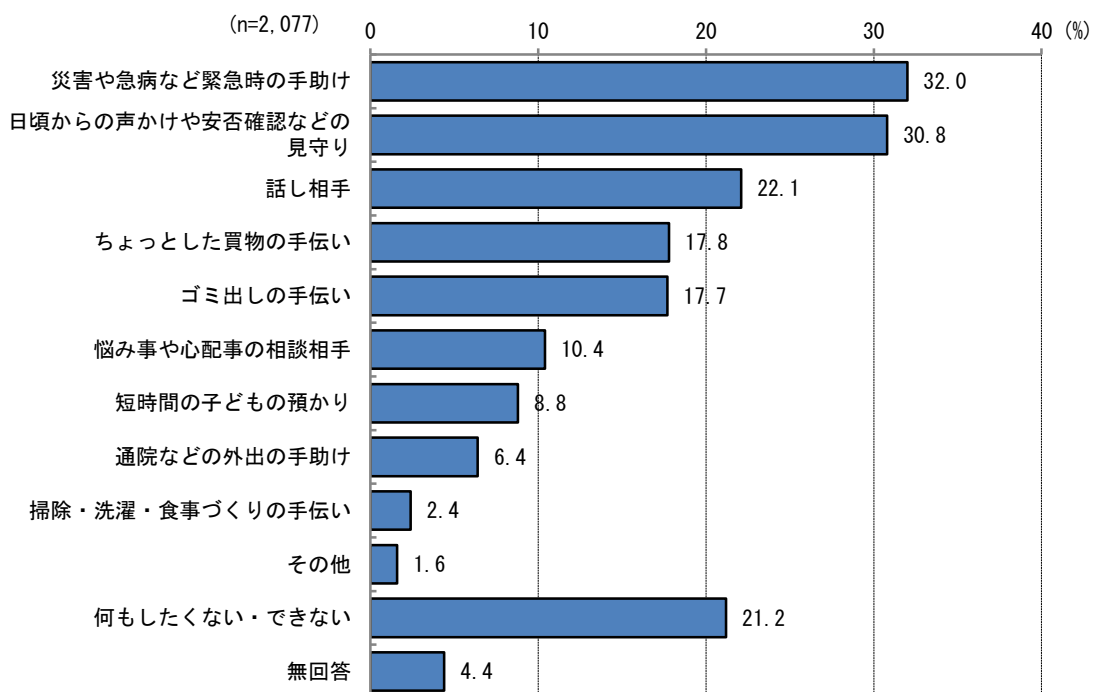
【図表 困りごとに関して地域の方からしてほしい手助け】



困りごとに関して地域の方からしてほしい手助けについて、「災害や急病など緊急時の手助け」との回答が43.0%と最も高く、次いで「日頃からの声かけや安否確認などの見守り」(18.5%)などの順となっている。また、「何もしてほしくない」との回答は22.8%となっている。

問 13 あなたは、地域で困っている方とその家族に対して、どのような手助けができますか。  
 【あてはまる番号を選び、3つまで○（1つでもかまいません）を付けてください。】

【図表 地域で困っている方々にできる手助け】

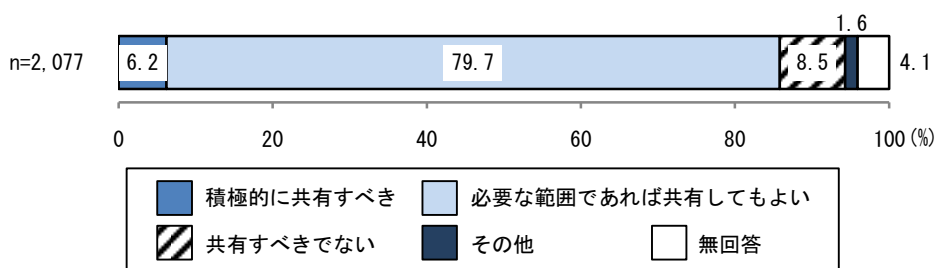


地域で困っている方々にできる手助けについて、「災害や急病など緊急時の手助け」との回答が 32.0%と最も高く、次いで「日頃からの声かけや安否確認などの見守り」（30.8%）、「話し相手」（22.1%）などの順となっている。また、「何もしたくない・できない」との回答は 21.2%となっている。

前問の地域の方からしてほしい手助けと、地域で困っている方々にできる手助けの上位2項目は合致している。

問 14 あなたは、日頃からの声かけや安否確認などの見守りのために、必要な個人情報  
 報を活動を行う地域住民が共有することについて、どう思いますか。  
 【あてはまる番号を選び、1つに○を付けてください。】

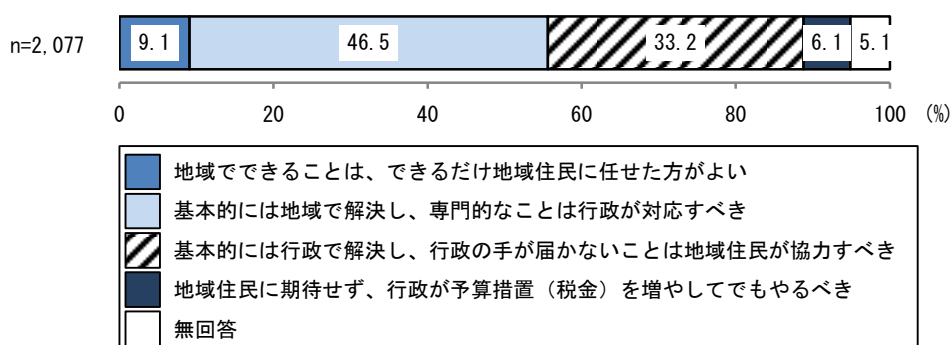
【図表 必要な個人情報を共有することについて】



必要な個人情報を共有することについて、「必要な範囲であれば共有してもよい」との回答が79.7%と最も高く、次いで「共有すべきでない」(8.5%)、「積極的に共有すべき」(6.2%)の順となっている。

問 15 あなたは、地域の課題の解決に向けた地域住民と行政の関わり方について、ど  
 のように考えていますか。  
 【あてはまる番号を選び、1つに○を付けてください。】

【図表 地域の課題解決に向けた行政との関わり方】

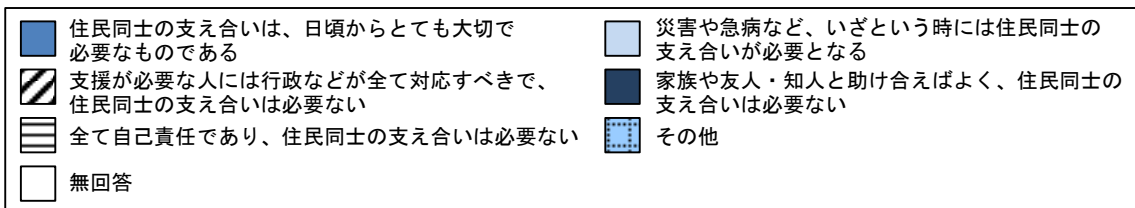
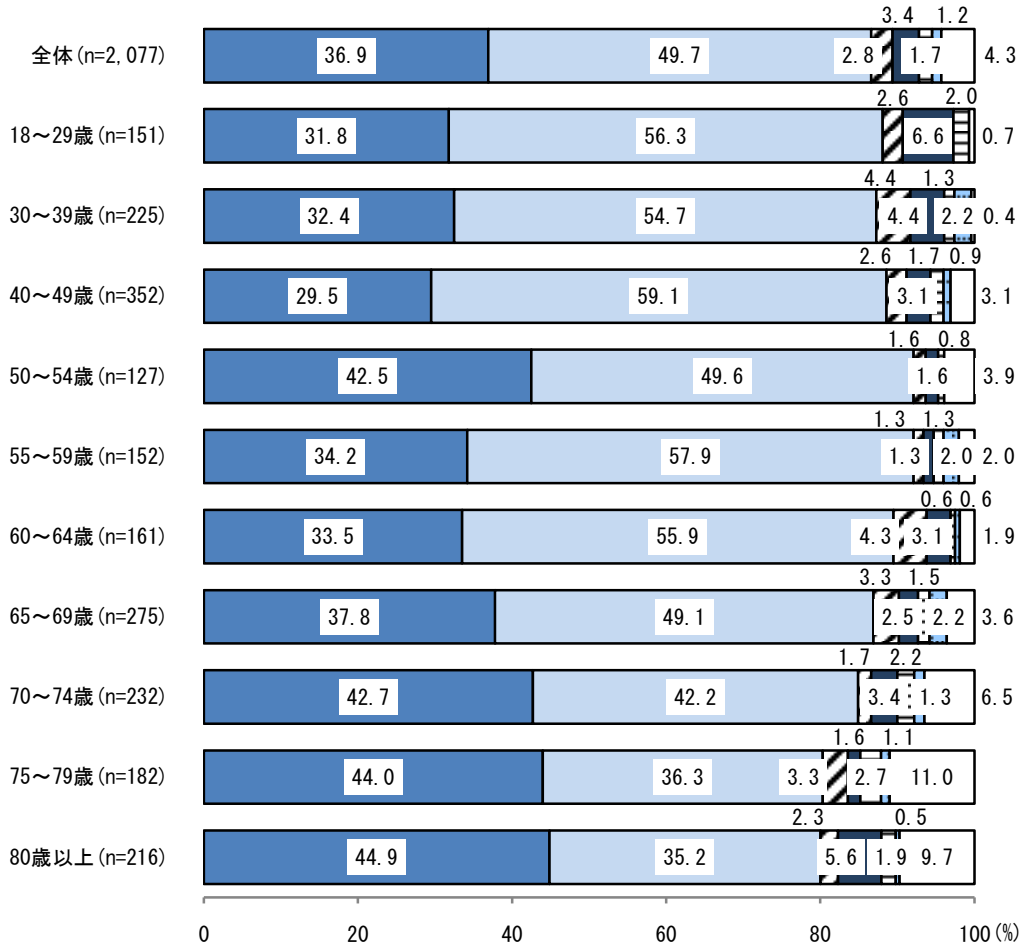


地域の課題解決に向けた行政との関わり方について、「基本的には地域で解決し、専門的なことは行政が対応すべき」との回答が46.5%と最も高く、次いで「基本的には行政で解決し、行政の手が届かないことは地域住民が協力すべき」(33.2%)などの順となっている。地域が主となるべきとの意見が5割台半ばである。

問 16 あなたは、住民同士の支え合いについて、どのように考えていますか。

【あてはまる番号を選び、1つに○を付けてください。】

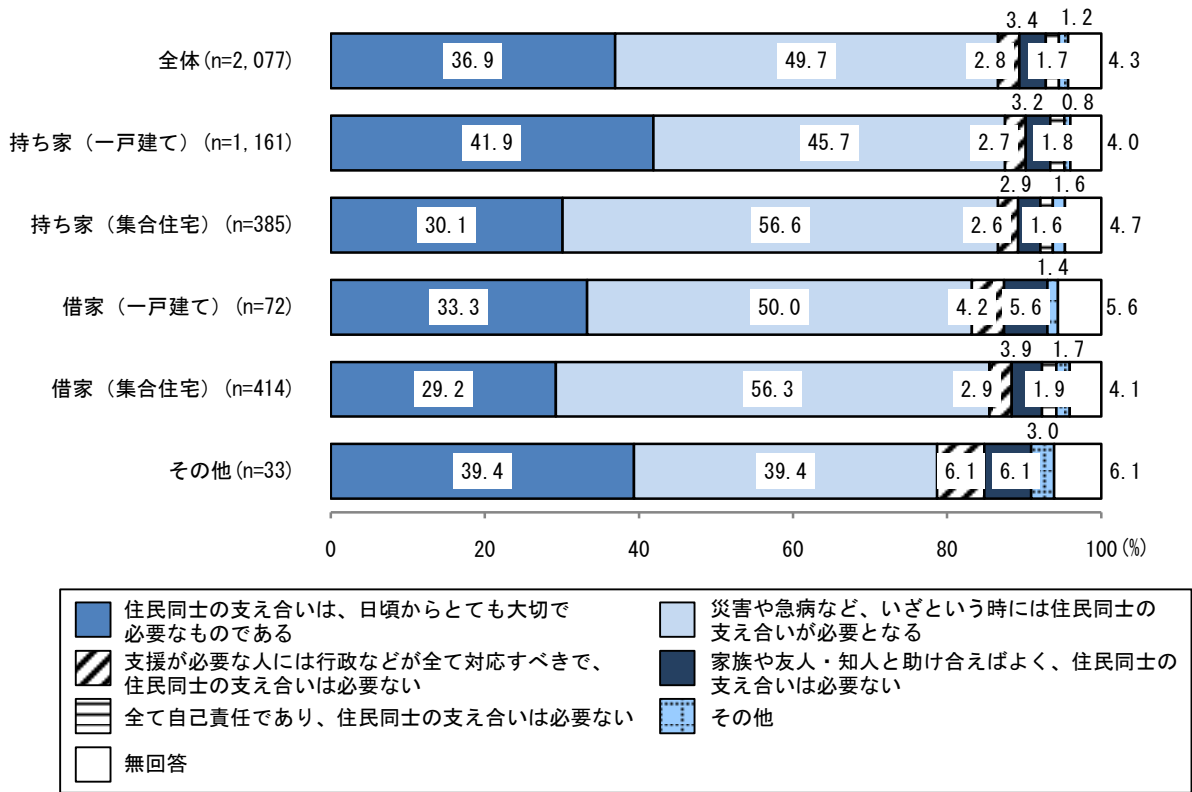
【図表 住民同士の支え合いについての考え方（年齢別）】



住民同士の支え合いについて、「災害や急病など、いざという時には住民同士の支え合いが必要となる」との回答が 49.7%と最も高く、次いで「住民同士の支え合いは、日頃からとても大切で必要なものである」(36.9%)などの順となっており、合わせると8割台半ばであり、住民同士の支え合いは必要だと考える市民が多い。

年齢別にみると、18～69歳は日頃からの支え合いより、いざという時に支え合いが必要になると考える人が多い。一方、70歳以上は日頃からの支え合いの方が大切であると考える人が多くなっている。

【図表 住民同士の支え合いについての考え方（住居形態別）】



住居形態別にみると、「住民同士の支え合いは、日頃からとても大切で必要なものである」との回答は持ち家（一戸建て）で4割超と最も高く、一方、借家（集合住宅）で約3割と最も低くなっており、住居形態により日頃からの住民同士の支え合いについての考え方に相違があることがうかがえる。

問 17 あなたは、地域活動やボランティア活動の活発化、住民同士の支え合いを進めるために、広島市はどのような取組を行う必要があると考えますか。  
【あてはまる番号を選び、3つまで○（1つでもかまいません）を付けてください。】

【図表 地域活動等を進めるために必要な広島市の取組（年齢別）】

		件数	(%)									
			地域活動等と福祉・保健・医療の専門機関の連携体制づくり	地域における身近な相談窓口の充実	地域活動等の担い手（活動する人）の育成・確保	地域活動団体等に対する資金助成	地域活動等の意義・重要性の住民への啓発・重	地域活動等の中心となるリーダーの育成	地域活動団体等の横のネットワークづくり	地域活動等を行う拠点となる場所の確保	学校教育や社会教育の充実	町内会・自治会の加入促進
全体		2,077	30.1	27.6	27.3	21.4	19.2	19.0	16.0	15.8	14.7	13.1
年齢別	18～29歳	151	39.7	25.2	21.9	20.5	15.9	11.9	27.8	11.9	27.8	6.0
	30～39歳	225	32.9	26.7	27.1	26.2	16.9	16.4	22.2	16.4	31.6	6.2
	40～49歳	352	34.7	29.0	26.7	23.9	19.3	15.3	18.2	13.1	22.7	8.2
	50～54歳	127	31.5	31.5	23.6	20.5	17.3	17.3	21.3	22.8	11.8	8.7
	55～59歳	152	33.6	32.9	30.9	27.0	18.4	22.4	21.7	19.1	12.5	11.8
	60～64歳	161	35.4	33.5	34.2	18.6	24.8	18.0	11.8	14.3	6.8	13.0
	65～69歳	275	28.4	26.5	29.5	21.1	20.4	23.3	13.8	19.6	8.7	13.1
	70～74歳	232	25.9	29.3	31.5	22.4	17.2	19.0	5.6	16.4	6.9	21.1
	75～79歳	182	16.5	20.3	26.4	15.9	29.1	21.4	12.6	16.5	6.6	19.2
80歳以上	216	23.1	23.1	21.3	15.7	13.9	24.1	10.6	10.6	7.4	23.1	

地域活動等を進めるために必要な広島市の取組について、「地域活動団体等と福祉・保健・医療の専門機関の連携体制づくり」との回答が30.1%と最も高く、次いで「地域における身近な相談窓口の充実」(27.6%)、「地域活動等の担い手（活動する人）の育成・確保」(27.3%)などの順となっている。

年齢別にみると、18～29歳は「地域活動団体等と福祉・保健・医療の専門機関の連携体制づくり」との回答が約4割と高くなっている。一方、60～64歳は「地域活動等の担い手（活動する人）の育成・確保」との回答が3割台半ば、75～79歳は「地域活動等の意義・重要性の住民への啓発」との回答が約3割、80歳以上は「町内会・自治会の加入促進」との回答が2割台半ばと高い。

問 18 あなたは、地域活動やボランティア活動の活発化、住民同士の支え合いを進めるために、地域にある福祉施設・事業者にどのようなことを期待しますか。  
【あてはまる番号を選び、3つまで○（1つでもかまいません）を付けてください。】

【図表 地域活動等を進めるために福祉施設・事業者に期待すること（年齢別）】

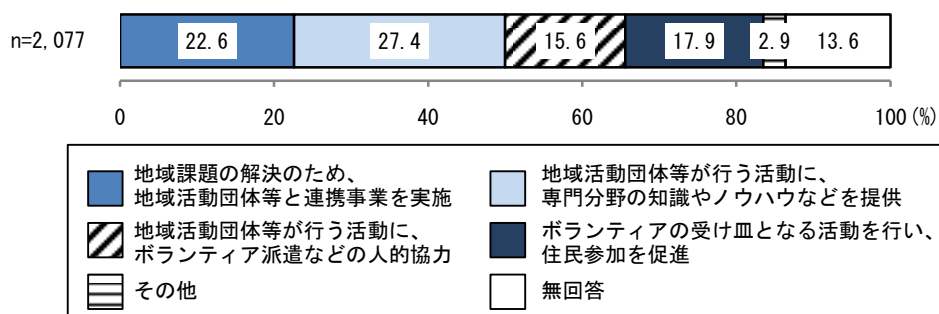
		(%)								
		件数	地域での困りごとの相談を受けられる窓口を設置	施設を地域に開放し、地域活動等を行う場所を提供	子ども食堂、学習教室、一人暮らし高齢者の食事会などの地域貢献活動	福祉や健康に関する情報の発信	質の高い福祉サービスの提供	地域行事・地域活動への参加・協働	その他	無回答
全体		2,077	34.0	32.5	30.8	29.1	25.7	16.2	1.4	6.4
年齢別	18～29歳	151	23.8	28.5	42.4	27.8	29.1	11.3	2.6	0.7
	30～39歳	225	30.7	44.4	48.0	20.9	23.6	23.6	3.1	2.7
	40～49歳	352	32.7	31.3	44.9	24.4	25.3	18.8	1.7	3.1
	50～54歳	127	37.8	32.3	32.3	30.7	27.6	18.1	2.4	2.4
	55～59歳	152	41.4	39.5	44.1	30.9	28.9	12.5	0.0	0.7
	60～64歳	161	45.3	31.1	28.6	34.2	26.1	13.0	0.0	6.2
	65～69歳	275	33.5	33.5	23.3	33.1	29.5	20.0	0.7	4.7
	70～74歳	232	37.1	30.2	16.8	34.1	25.9	15.1	1.7	9.1
	75～79歳	182	30.2	30.8	15.4	31.3	17.0	16.5	2.2	10.4
80歳以上	216	31.5	25.0	11.1	28.7	24.5	8.3	0.0	20.8	

地域活動等を進めるために福祉施設・事業者に期待することについて、「地域での困りごとの相談を受けられる窓口を設置」との回答が34.0%と最も高く、次いで「施設を地域に開放し、地域活動等を行う場所を提供」（32.5%）、「子ども食堂、学習教室、一人暮らし高齢者の食事会などの地域貢献活動」（30.8%）などの順となっている。

年齢別にみると、59歳以下は「子ども食堂、学習教室、一人暮らし高齢者の食事会などの地域貢献活動」との回答がほぼ4割以上と高く、子育て世代で子ども食堂、学習教室等の地域貢献活動への期待が高いことがうかがえる。

問 19 あなたは、地域活動やボランティア活動の活発化、住民同士の支え合いを進めるために、NPO法人（社会的な問題を解決する活動等を行う民間非営利法人）にどのようなことを一番期待しますか。  
 【あてはまる番号を選び、1つに○を付けてください。】

【図表 地域活動等を進めるためにNPO法人に期待すること】



地域活動等を進めるためにNPO法人に期待することについて、「地域活動団体等が行う活動に、専門分野の知識やノウハウなどを提供」との回答が27.4%と最も高く、次いで「地域課題の解決のため、地域活動団体等と連携事業を実施」（22.6%）などの順となっている。



## 2. 福祉サービスの利用や相談窓口について

問 20 あなたは、福祉に関する情報をどのように入手していますか。

【あてはまる番号を選び、3つまで○（1つでもかまいません）を付けてください。】

【図表 福祉に関する情報の入手先（年齢別）】

		(%)									
		市の 広報紙	テレビ・ ラジオ・新 聞・雑誌	地域の 掲示板や 町内会・自治 会の回覧板	ホームペ ージなど （市の	友人、 親戚など からの 口コミ	市役所 や区役所 など行政 機関	公共施設 の窓口 に置か れている チラシや ポスター など	社会 福祉施設、 医療機 関	特 に 入 手 し て い な い	
全 体		2,077	44.2	26.0	24.3	19.0	14.3	12.9	10.5	9.4	16.2
年 齢 別	18～29歳	151	16.6	23.8	9.3	27.8	9.9	7.9	11.3	9.3	37.7
	30～39歳	225	25.8	22.7	14.2	39.6	16.4	10.2	13.8	8.4	26.7
	40～49歳	352	39.5	20.7	11.9	31.0	14.5	9.9	10.5	8.2	23.3
	50～54歳	127	46.5	26.0	23.6	25.2	18.1	14.2	10.2	7.9	15.7
	55～59歳	152	58.6	35.5	17.1	23.7	13.2	15.1	13.8	11.8	9.9
	60～64歳	161	49.7	24.2	30.4	18.6	16.8	15.5	9.3	16.8	10.6
	65～69歳	275	54.9	33.5	33.5	10.2	11.6	15.3	11.3	8.0	10.9
	70～74歳	232	58.6	24.6	34.5	6.5	20.3	13.4	8.2	7.3	5.6
	75～79歳	182	51.6	29.1	41.2	4.9	11.0	13.2	12.1	9.9	9.3
80歳以上	216	39.4	23.6	29.6	2.3	11.1	16.2	6.0	10.2	11.1	

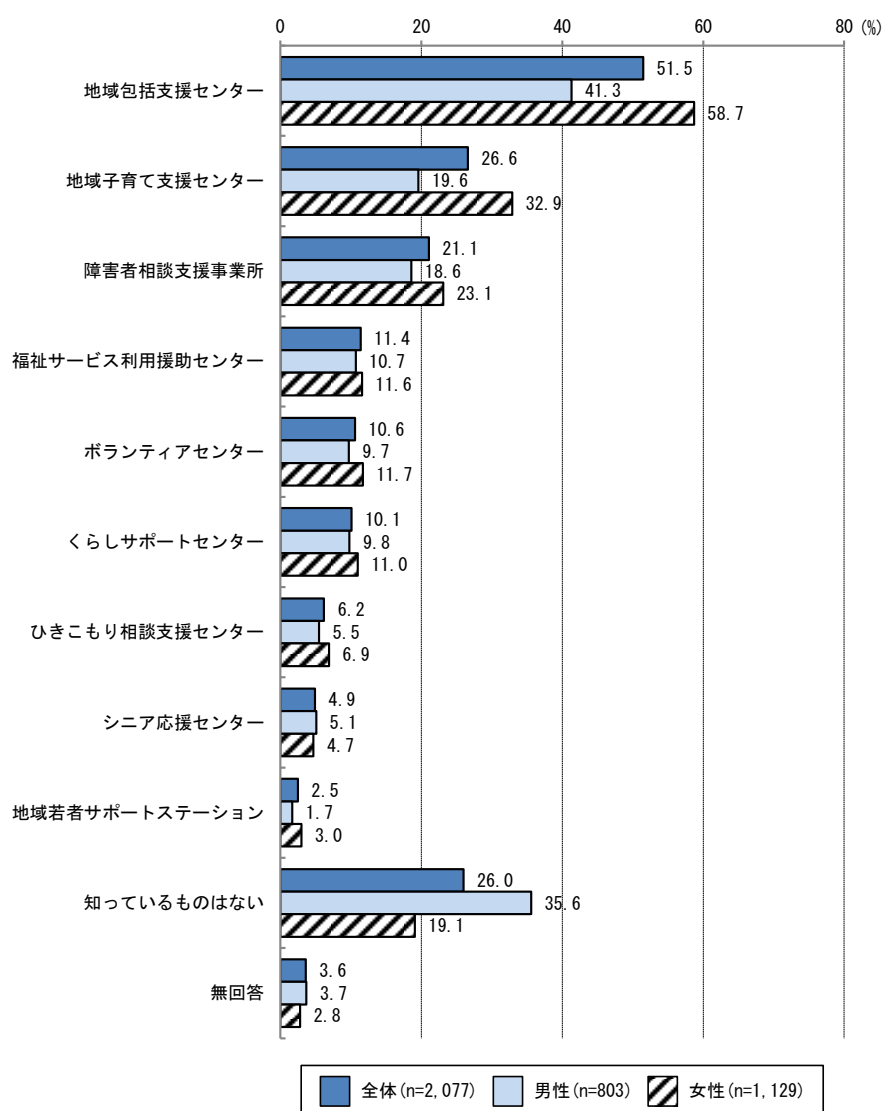
福祉に関する情報の入手先について、「市の広報紙」との回答が44.2%と最も高く、次いで「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌」（26.0%）、「地域の掲示板や町内会・自治会の回覧板」（24.3%）などの順となっている。

年齢別にみると、55～79歳は「市の広報紙」との回答がほぼ5割台、30～49歳は「インターネット（市のホームページなど）」との回答が3割台と高くなっている。また、18～29歳は「特に入手していない」との回答が約4割と高く、年齢が上がるにつれて福祉に関する情報への関心が強くなる傾向がみられる。

問 21 あなたは、次の相談窓口について知っていますか。

【あてはまる番号を選び、いくつでも○を付けてください。】

【図表 知っている相談窓口（性別）】

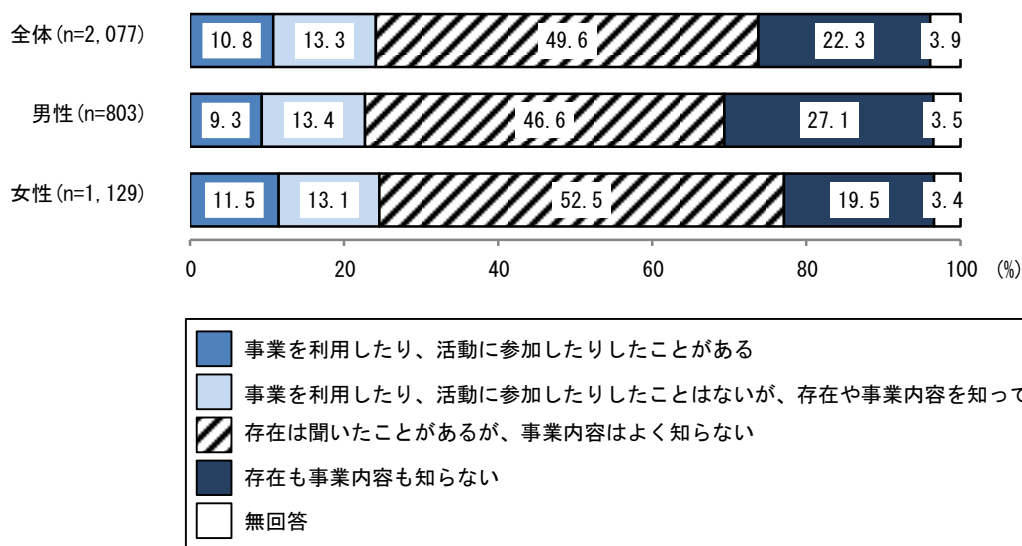


知っている相談窓口について、「地域包括支援センター」との回答が 51.5%と最も高く、次いで「地域子育て支援センター」（26.6%）、「障害者相談支援事業所」（21.1%）などの順となっている。「地域包括支援センター」は5割を超え、身近な相談窓口として広く認知されていることがうかがえる。

性別にみると、「地域包括支援センター」との回答は女性（58.7%）が男性（41.3%）を 17.4 ポイント、「地域子育て支援センター」で 13.3 ポイント上回っている。また、「知っているものはない」との回答は男性（35.6%）が女性（19.1%）を 16.5 ポイント上回っており、女性に比べ男性は福祉サービスの相談窓口の認知度が低いことがわかる。

問 22 あなたは、社会福祉協議会の存在や事業内容について知っていますか。  
 【あてはまる番号を選び、1つに○を付けてください。】

【図表 社会福祉協議会の認知度（性別）】

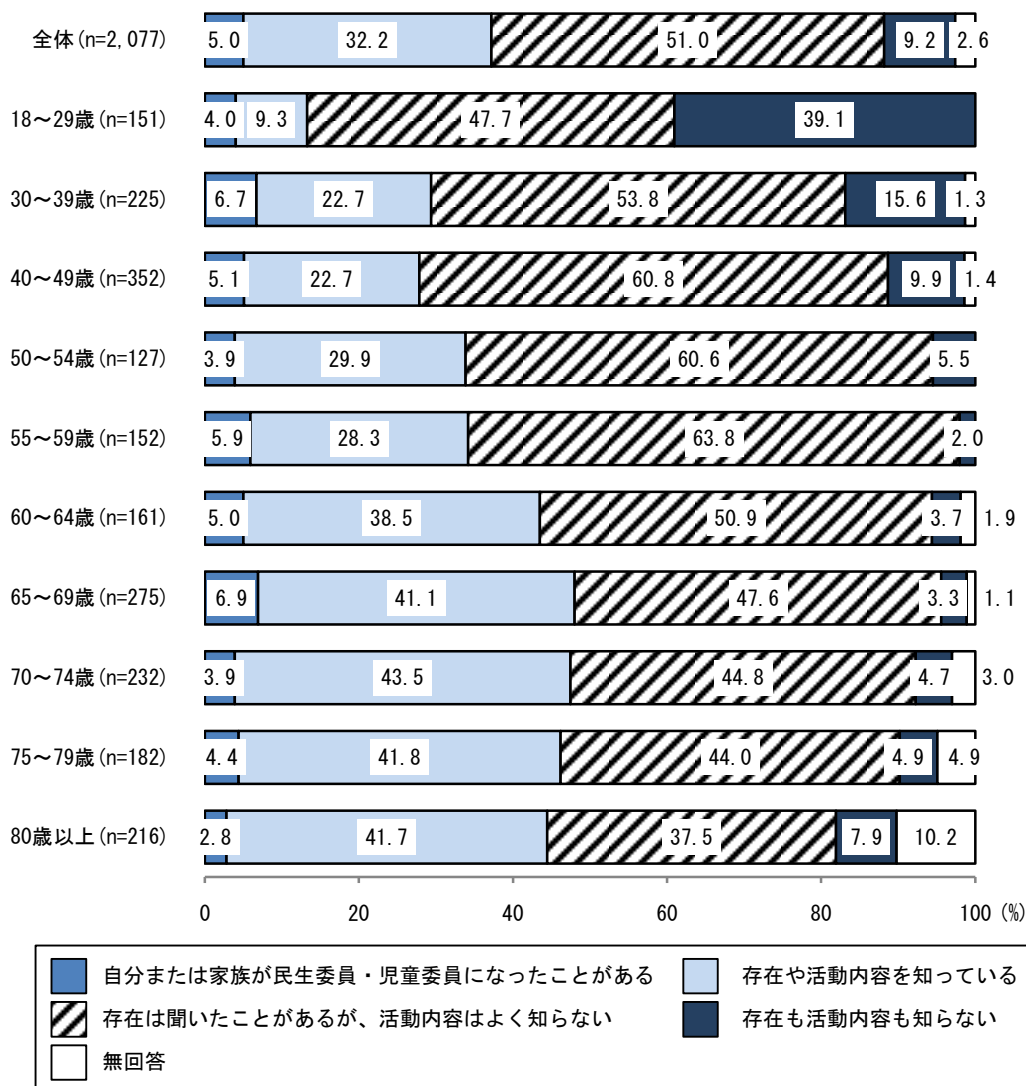


社会福祉協議会の認知度について、「存在は聞いたことがあるが、事業内容はよく知らない」との回答が 49.6%と最も高く、次いで「存在も事業内容も知らない」(22.3%)などの順となっており、合わせると7割を超え認知度はあまり高くない。

性別にみると、「存在も事業内容も知らない」との回答は男性(27.1%)が女性(19.5%)を7.6ポイント上回っており、社会福祉協議会についても女性に比べ男性の認知度が低い。

問 23 あなたは、民生委員・児童委員の存在やその活動内容について知っていますか。  
【あてはまる番号を選び、1つに○を付けてください。】

【図表 民生委員・児童委員の認知度（年齢別）】



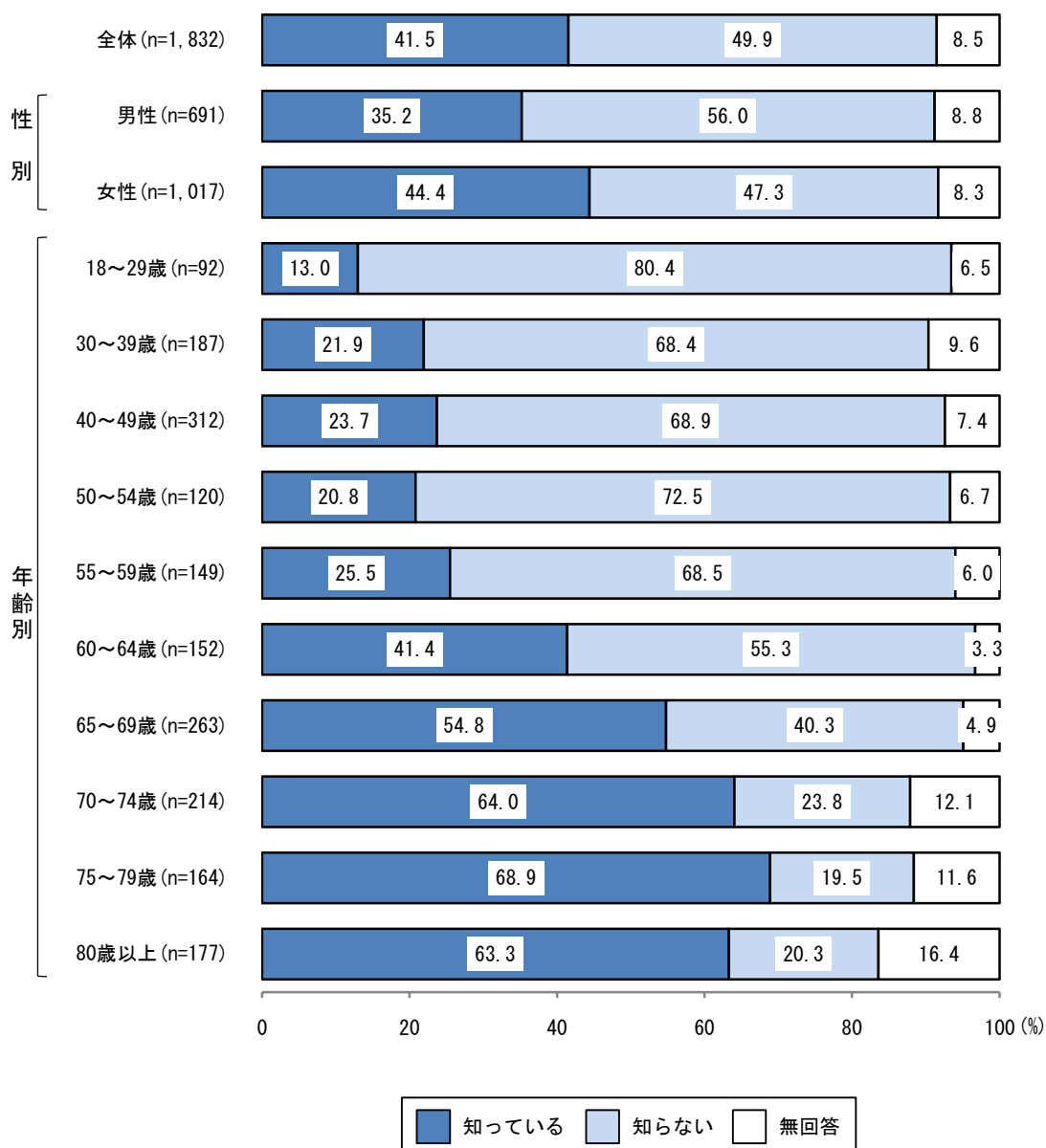
民生委員・児童委員の認知度について、「存在は聞いたことがあるが、活動内容はよく知らない」との回答が51.0%と最も高く、次いで「存在や活動内容を知っている」(32.2%)などの順となっている。

年齢別にみると、60歳以上は「存在や活動内容を知っている」との回答がほぼ4割を超え高くなっている。一方、18～29歳は「存在も活動内容も知らない」との回答が約4割と高く、若い世代でより認知度が低くなっている。

問 24 問 23 で「自分または家族が民生委員・児童委員になったことがある」、「存在や活動内容を知っている」、「存在は聞いたことがあるが、活動内容はよく知らない」と答えた方におたずねします。あなたがお住まいの地域を担当する民生委員・児童委員が誰か知っていますか。

【あてはまる番号を選び、1つに○を付けてください。】

【図表 地域の民生委員・児童委員の認知度（性・年齢別）】



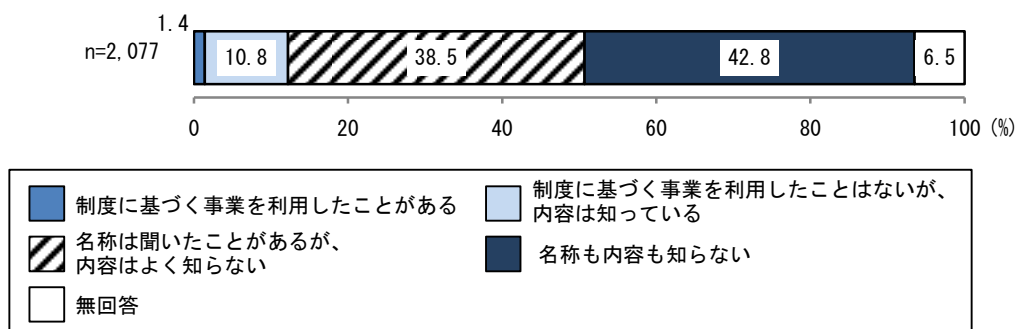
地域の民生委員・児童委員の認知度について、「知っている」との回答が41.5%、「知らない」との回答が49.9%となっている。

性別にみると、「知っている」との回答は女性（44.4%）が男性（35.2%）を9.2ポイント上回っており、男性の認知度が低くなっている。

年齢別にみると、60歳以上で認知度が高く、年齢が上がるにつれて認知度が高くなる傾向がみられる。

問 25 あなたは、生活保護を受給するまでではないものの、経済的な面で生活に困っている人のための、生活困窮者自立支援制度について知っていますか。  
【あてはまる番号を選び、1つに○を付けてください。】

【図表 生活困窮者自立支援制度の認知度】

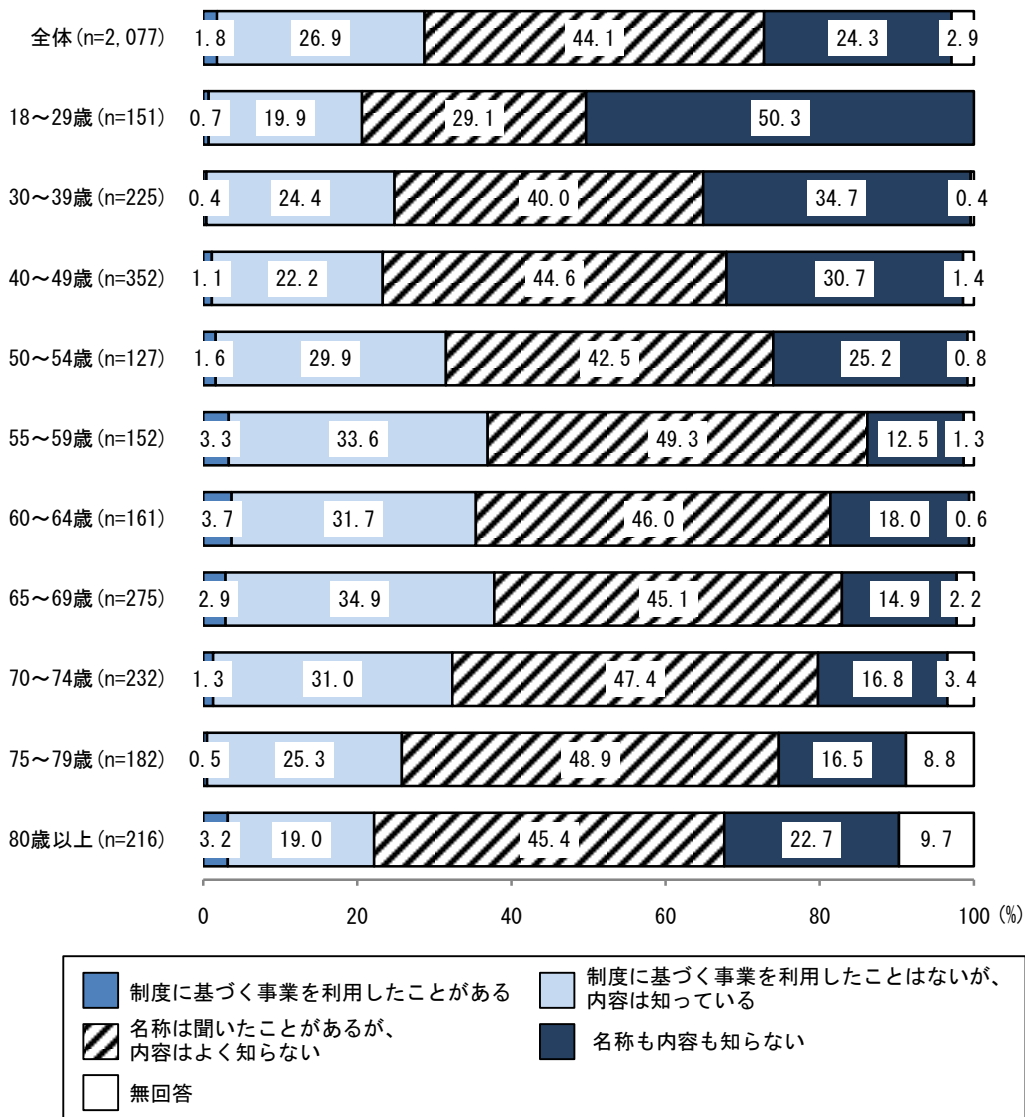


生活困窮者自立支援制度の認知度について、「名称も内容も知らない」との回答が42.8%と最も高く、次いで「名称は聞いたことがあるが、内容はよく知らない」(38.5%)などの順となっており、認知度は低くなっている。

問 26 あなたは、認知症や知的障害、精神障害などにより、判断能力が不十分なことがある人のための、成年後見制度について知っていますか。

【あてはまる番号を選び、1つに○を付けてください。】

【図表 成年後見制度の認知度（年齢別）】

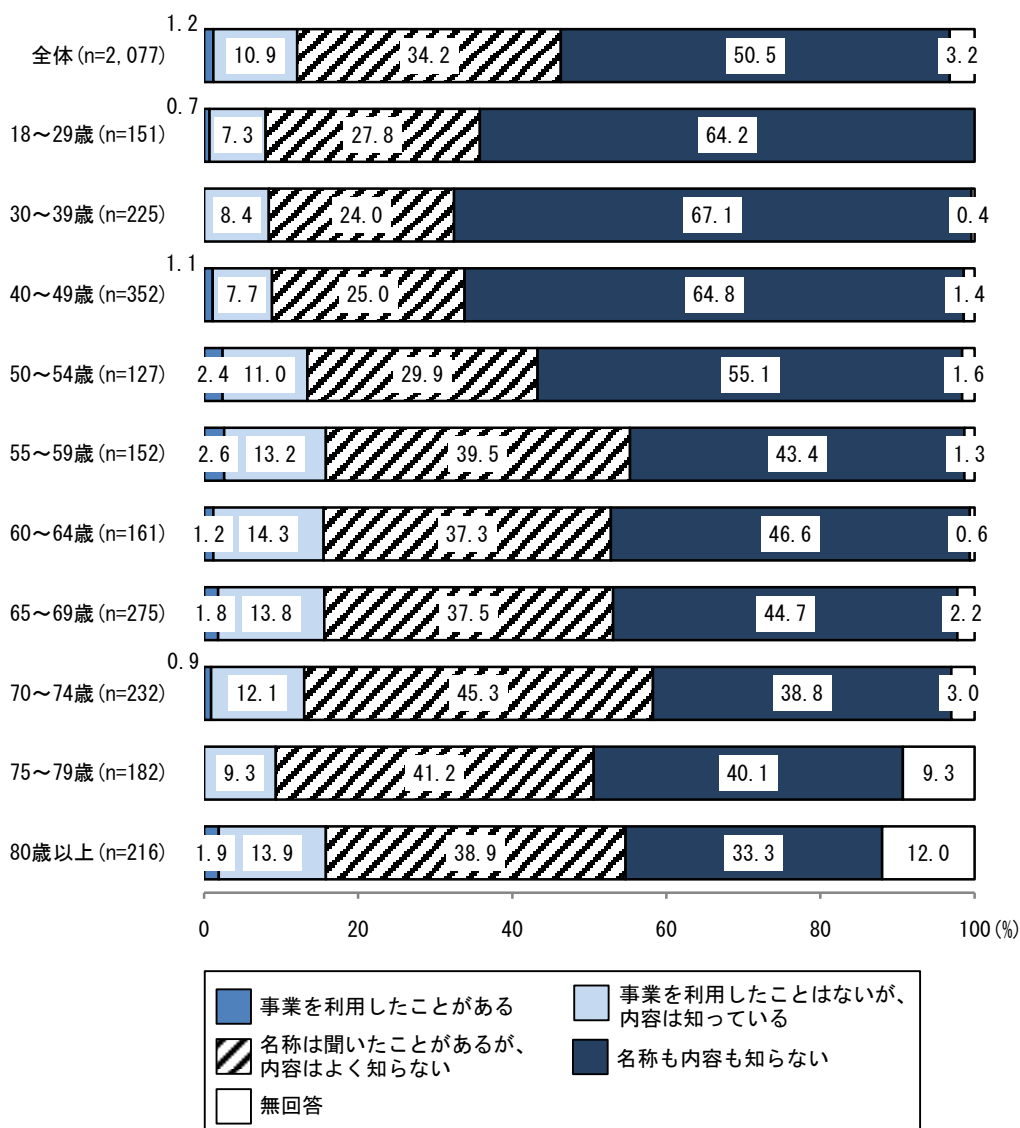


成年後見制度の認知度について、「名称は聞いたことがあるが、内容はよく知らない」との回答が44.1%と最も高く、次いで「制度に基づく事業を利用したことはないが、内容は知っている」(26.9%)、「名称も内容も知らない」(24.3%)などの順となっている。

年齢別にみると、「制度に基づく事業を利用したことはないが、内容は知っている」との回答は、年齢が上がるにつれ高くなる傾向にあり、65～69歳で最も高く、そこから減少に転じている。

問 27 あなたは、成年後見制度を利用するほどではないものの、認知症や知的障害、精神障害などにより、判断能力が不十分なことがある人のための、日常生活自立支援事業（福祉サービス利用援助事業「かけはし」）について知っていますか。【あてはまる番号を選び、1つに○を付けてください。】

【図表 日常生活自立支援事業の認知度（年齢別）】



日常生活自立支援事業の認知度について、「名称も内容も知らない」との回答が50.5%と最も高く、次いで「名称は聞いたことがあるが、内容はよく知らない」（34.2%）などの順となっており、認知度は低くなっている。

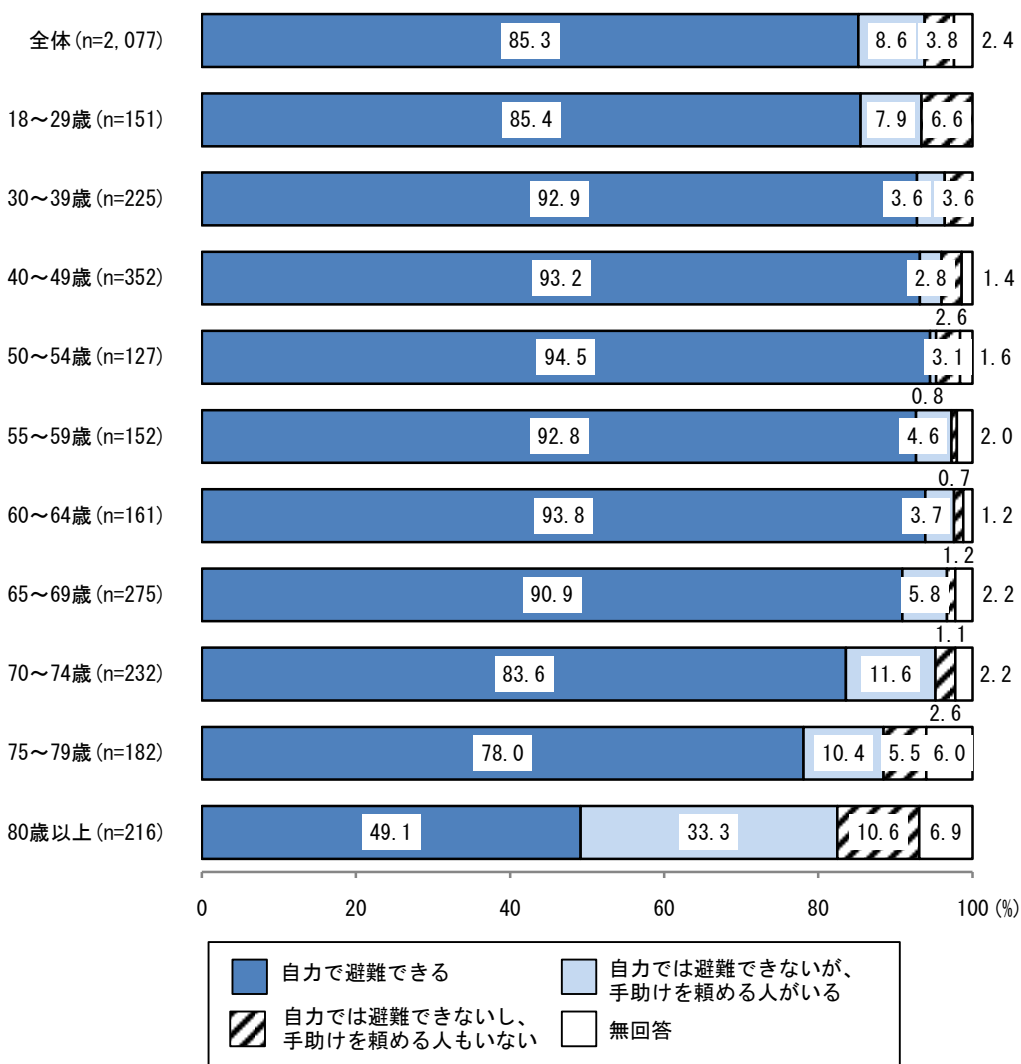
年齢別にみると、18～49歳は「名称も内容も知らない」との回答が6割を超え高くなっている。



### 3. 災害時の助け合いについて

問 28 あなたご自身は、災害時に自力で避難できますか。ご自身だけの避難についてお答えください。【あてはまる番号を選び、1つに○を付けてください。】

【図表 災害時の自力避難の可否（年齢別）】

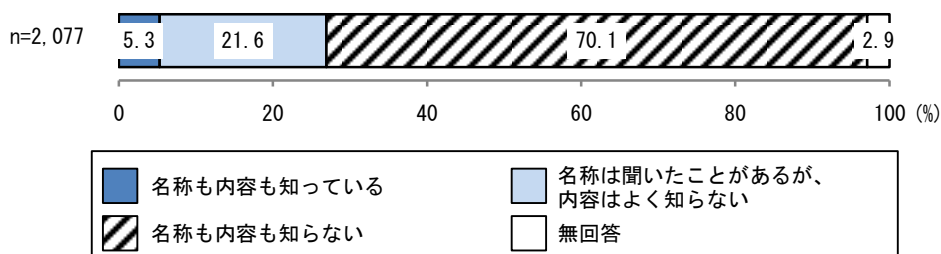


災害時の自力避難の可否について、「自力で避難できる」との回答が85.3%と最も高く、次いで「自力では避難できないが、手助けを頼める人がいる」(8.6%)、「自力では避難できないし、手助けを頼める人もいない」(3.8%)となっている。

年齢別にみると、70歳以上で「自力で避難できない」人の割合が高くなっていく傾向がみられる。

問 29 あなたは、災害時に自力で避難することが難しいと思われる高齢者や障害者などのための、避難行動要支援者避難支援制度について知っていますか。  
【あてはまる番号を選び、1つに○を付けてください。】

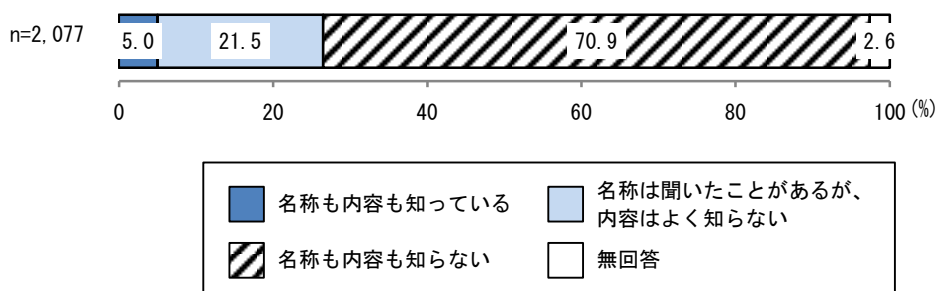
【図表 避難行動要支援者避難支援制度の認知度】



避難行動要支援者避難支援制度の認知度について、「名称も内容も知らない」との回答が70.1%と最も高く、次いで「名称は聞いたことがあるが、内容はよく知らない」(21.6%)などの順となっており、認知度は低くなっている。

問 30 あなたは、高齢者や障害者などの中で配慮が必要な方のための、災害時の「福祉避難所」について知っていますか。  
【あてはまる番号を選び、1つに○を付けてください。】

【図表 災害時の「福祉避難所」の認知度】



災害時の「福祉避難所」の認知度について、「名称も内容も知らない」との回答が70.9%と最も高く、次いで「名称は聞いたことがあるが、内容はよく知らない」(21.5%)、「名称も内容も知っている」(5.0%)となっており、認知度は低くなっている。